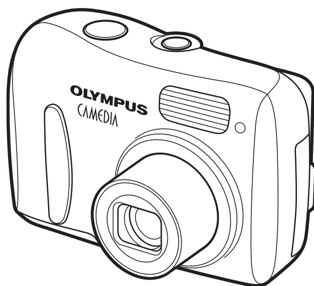
OLYMPUS®

CAMEDIA
デジタルカメラ

X-450
D-535 ZOOM
C-370 ZOOM

取扱説明書



- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。

製品をご使用になる前に、カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF 」です。

取扱説明書の構成

もくじ

1 準備 14

2 メニューについて 37

3 撮影 42

4 再生 68

5 カメラの便利機能　82

6 プリント予約（DPOF）　90

7 ダイレクトプリント（PictBridge）　97

8 パソコンとの接続 109

9 その他 130

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

安全にお使いいただくために

製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意

⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガスなどがある場所では使用しない**。これらのガスが、大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない。**目に近づけて撮影すると、視力障害をきたすおそれがあります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。
- **幼児、子供の手の届く場所に置かない。**以下のような事故発生のおそれがあります。
  - 誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **カメラで日光や強い光を見ない。**視力障害をきたすおそれがあります。
- **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない。**充電中の充電器や電池は温度が高くなります。また、別売のACアダプタも長時間お使いになっていると、本体の温度が高くなります。長時間、皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使ったり、保管しない。**火災や感電の原因となることがあります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。**連続発光後も発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。

● **分解や改造をしない。**感電やけがをする原因となります。
● **内部に水や異物を入れない。**万一、水に落としたり、内部に水が入ったりしたときは、火災や感電の原因になりますので、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店または当社修理センター／サービスステーションにご相談ください。

⚠ 注意

● **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常が生じたときは使用をやめる。**このようなときは、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店または当社修理センター／サービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因となります。（電池を取り出す際は、素手で電池を触らないでください。また、可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）
● **濡れた手で操作しない。**感電の危険があります。またACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対にしないでください。
● **持ち運びのときは、ストラップが引っかからないよう注意する。**カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
● **温度の高い所へ放置しない。**部品が劣化したり、火災の原因となります。
● **専用のACアダプタ以外は使用しない。**カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用のACアダプタ以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、あらかじめご了承ください。
● **AC アダプタのコードを傷つけない**。AC アダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
以下の場合はただちに使用を中止し、販売店または当社修理センター／サービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合。
- AC アダプタのコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良があった場合。

使用条件についてのご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
    直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど、急激に温度が変わったときはカメラ内部で結露する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- 長期間使用しないと、カビがはえたり故障の原因になることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- 三脚に取り付ける際、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

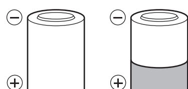
⚠ 危険

- 充電式電池は、専用のオリンパス製電池と充電器をご使用ください。電池は指定の充電器以外で充電しないでください。電池、充電器などの説明書をよく読んで、正しくお使いください。
- 火中への投下や、加熱をしないでください。
- ＋－を金属等で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 強い日なた、炎天下の車内やストーブの前面など、高温の場所で使用・放置しないでください。
- 直接ハンダ付けしたり、変形や改造・分解をしないでください。端子部安全弁の破壊や、アルカリ液の飛散が生じ危険です。

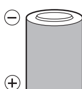
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込みなどに、直接接続しないでください。
- 電池の液が目に入ると、失明の原因になります。こすらずに、すぐ水道水などのきれいな水で充分に洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池を誤って飲まないよう、乳幼児の手の届かぬ場所で保管および使用してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 警告

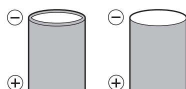
- 電池を水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。また、濡れた手で電池に触ったり持たないでください。
- 以下の内容を守らない場合、電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。
  - このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
  - 古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、また、容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
  - 充電できないアルカリ電池やリチウム電池を充電しないでください。
  - ＋－を逆にして装着・使用しないでください。また、機器にうまく入らない場合は無理に接続しないでください。
  - 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池をご使用になりますと、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になりますので、絶対にご使用にならないでください。
  - 市販されている電池の中にも、外装シール（絶縁被覆）の一部またはすべてが剥がれている電池があります。このような電池は、絶対にご使用にならないでください。
- このような形状の電池はご使用になれません。



シール（絶縁被覆）をすべて剥がしているもの（裸電池）、または一部が剥がされているもの。



負極（マイナス面）の一部に膨らみがあるが、負極がシール（絶縁被覆）で覆われていないもの。



負極（マイナス面）が平らな電池。（負極の一部がシールに覆われていても、覆われていなくても使用できません。）

- ニッケル水素電池の充電が、所定充電時間を越えても完了しない場合は、充電を中止してください。
- 液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は使用を中止し、販売店または当社修理センター／サービスステーションにご相談ください。火災や感電の原因となります。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因になります。

- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしないでください。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

⚠ 注意

- 電池の＋－極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- 当社製ニッケル水素電池はオリンパスデジタルカメラ「CAMEDIA（キャメディア）」専用です。他の機器に使用しないでください。
- 充電式電池をお買い上げ後初めてご使用になる場合、また長期間使用しなかった場合は、必ず充電してください。
- 充電式電池は必ず使用する電池を同時に（機種により4本または2本）充電してご使用ください。
- 電池を使ってカメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さないでください。やけどの原因となります。
- アルカリ電池は電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により内部抵抗・容量に差があるため、ニッケル水素電池などに比べて寿命が極端に短い場合があります。また、低温時は使えません。
- マンガン電池は使用できません。電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱などにより本体に損害をもたらすおそれがあります。
- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- ニッケル水素電池ご使用推奨温度範囲
  放電（機器使用時）：0 ～40 ℃
  充電：0 ～40 ℃
  保存：－20 ～30 ℃
  上記温度範囲外での使用は性能・寿命の低下の原因となります。保管の際はカメラから電池を取り出してください。
- 長時間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておいてください。電池の液漏れ・発熱により、火災やけがの原因となることがあります。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 長期間の旅行などには、予備の新しい電池を用意することをおすすめします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。
- 電池を捨てる際は、地域の規定にしたがって処分してください。
- **ご使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には＋－端子をテープで絶縁してから、最寄りの充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。**

液晶モニタについて

本製品は背面の表示に液晶モニタを使用しています。

- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、ただちに石鹸で洗い落してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

1 準備

各部の名称

カメラ

シャッターボタン
☞ P.45

パワースイッチ
☞ P.30, 45, 68

フラッシュ ☞ P.55

セルフタイマーランプ
☞ P.62

レンズ
パワースイッチを押すと、自動的にせり出してきます。

ビデオ出力端子
（VIDEO OUT）
☞ P.75

コネクタカバー
☞ P.23, 75, 98, 118

電池／カードカバー
☞ P.21, 27

USB 端子
☞ P.98, 118

三脚穴

DC 入力端子 ☞ P.23

ロックボタン☞ P.21, 27

液晶モニタ ☞ P.16

撮影ボタン（(📷)）☞ P.31, 68

オレンジランプ ☞ P.30

緑ランプ ☞ P.31

再生ボタン（(▶)）☞ P.31, 68

ズームボタン
(W/T・ 🔍)
☞ P.53, 70, 72

ストラップ取付部
☞ P.20

消去ボタン
(🗑)
☞ P.80

モードダイヤル
☞ P.42

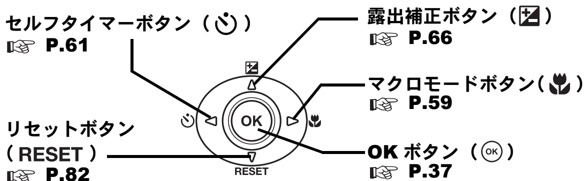
メニューボタン（(☰)）
☞ P.37

十字ボタン（△ ▽ ◁ ▷）
☞ P.37, 68

フラッシュモードボタン((⚡))
☞ P.55

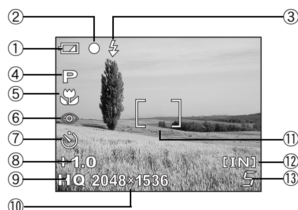
十字ボタン

十字ボタンにはそれぞれの機能があります。その他に方向キーとしても使用します。本書では十字ボタンのどの方向キーを押すかを△ ▽ ◁ ▷マークで示しています。

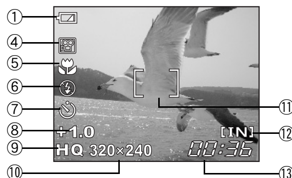


液晶モニタの表示

●撮影モード



静止画



ムービー

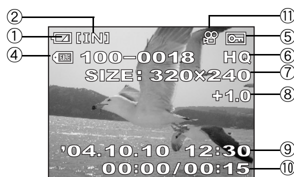
	項目	表示例	参照頁
①	電池残量	、	P.18
②	緑ランプ	◯	P.45
③	フラッシュ発光予告 手ぶれ警告／フラッシュ充電	（点灯） （点滅）	P.56
④	撮影モード	P、、、、、	P.42
⑤	マクロモード	、	P.59
⑥	フラッシュモード	、、	P.55
⑦	セルフタイマー		P.61
⑧	露出補正	-2.0～+2.0	P.66
⑨	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2	P.63
⑩	画像サイズ	2048×1536、1600×1200、640×480など	P.63
⑪	AFターゲットマーク	[ ]	P.45
⑫	使用メモリ ※	[IN]、[xD]	P.25
⑬	撮影可能枚数 撮影可能時間	5 00：36	P.45 P.51

※ ［IN］マークは、カメラの内蔵メモリを使用しているときに表示されます。カードを挿入しているときは［xD］が表示されます。

●再生モード



静止画



ムービー

	項目	表示例	参照頁
①	電池残量	▭、▭	P.18
②	使用メモリ ※	[IN]、[xD]	P.25
③	プリント予約・ プリント枚数	⎙×10	P.90
④	ファイル番号	100-0018	P.90
⑤	プロテクト	O┳	P.79
⑥	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2	P.63
⑦	画像サイズ	2048×1536、1600×1200、640×480など	P.63
⑧	露出補正	-2.0～+2.0	P.66
⑨	日時	'04.10.10　12:30	P.34
⑩	コマ数 経過時間／記録時間（ムービー）	18 00：00／00：15	— P.77
⑪	ムービー	🎥	P.77

※　[IN] マークは、カメラの内蔵メモリを使用しているときに表示されます。カードを挿入しているときは [xD] が表示されます。


注意

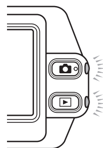
- 3秒経過すると、コマ数や日時などの表示は自動的に消えます。
- ムービーの場合、画像を選択して表示したときと、ムービー再生中で表示内容が異なります。

●電池マークについて

カメラの電源を入れたときや使用中に電池残量が少なくなると、液晶モニタの電池残量表示が以下のように表示されます。







点灯（緑） （しばらくすると消灯）	点滅（赤）	カメラ本体の緑ランプとオレンジランプが点滅します。
電池残量は十分にあります。	電池残量が少なくなりました。電池を充電してください。または新しい電池を準備してください。	電池残量が完全になくなりました。電池を充電してください。または新しい電池と交換してください。

本書の見方

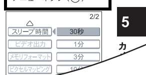
操作手順です。番号順に操作してください。

待機状態に入るまでの時間を設定する（スリープ時間）

カメラは、何も操作しない状態で設定した時間が経過すると、スリープモード（待機状態）になり、動作を停止します。スリープに入るまでの時間を設定することができます。

1 メニューから［スリープ時間］を選択し、㊇を押します。
☞「メニューの操作方法」（P.37）
• 撮影モード、再生モードのどちらからでも行うことができます。





2 △ ▽ を押して、［30秒］［1分］［3分］［10分］から選択し、㊇を押します。
• ▤を押すと、メニューが終了します。

この機能で操作するボタンとその位置がわかるように表記しています。

十字ボタンのどの方向キーを押すかを △ ▽ ◁ ▷ マークで示しています。

このページは説明のためのサンプルです。実際のページとは異なる場合があります。

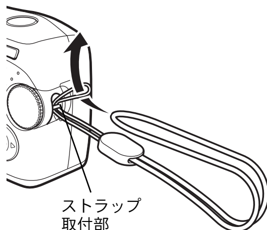
本書の表記について

 注意	故障やトラブルになるような、重要な注意事項が書かれています。絶対に避けていただきたい操作も書かれています。
	活用するために、知っておくと便利なことや役に立つ情報などが書かれています。
	本書での参照先のページを表します。

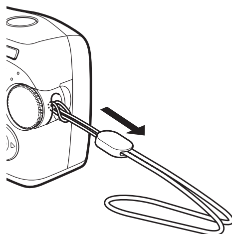
ストラップを取り付ける

1 ストラップ取付部にストラップの短い方を通します。

2 ストラップの長い方を輪にくぐらせます。



3 少し強めに引っ張り、ゆるんで抜けないことを確認してください。




注意

- カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
- 手順にしたがってストラップを正しく取り付けてください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れてカメラを落とすなどされた場合、当社は損害など一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

1 準備

電池を入れる

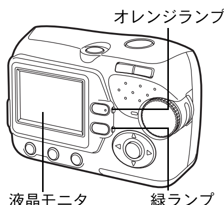
電池はニッケル水素電池（充電式電池）2本、または単3アルカリ電池2本を使用します。

お求めいただいたときは、ニッケル水素電池は十分に充電されていません。ご使用の前に専用の充電器（BU-02）で充電を行ってください。詳しくは、充電器の取扱説明書（付属）をお読みください。

重要
単3マンガン電池、リチウム電池パック（CR-V3）は使用できません。

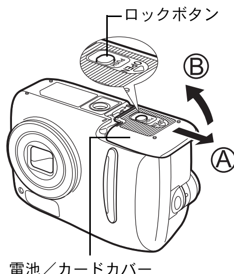
1 カメラの電源が入っていないことを確認します。

- 液晶モニタが消灯している。
- カメラ本体の緑ランプとオレンジランプが消灯している。
- レンズが出ていない。



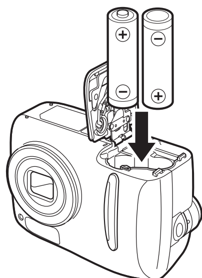
2 ロックボタンを押しながら、電池／カードカバーをⒶの方向にスライドさせて、Ⓑの方向へ開きます。

- カバーをスライドさせるときは指の腹を使って開けてください。爪などを使うとけがをすることがあります。
- カメラの底面を上にして、電池／カードカバーを開けてください。



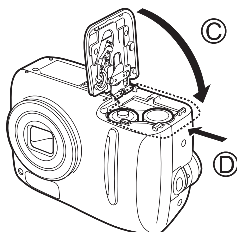
3 図のように電池の向きを正しく合わせて入れます。

- 電池室内とカメラ底面に電池挿入方向を示す表示があります。



4 電池／カードカバーで電池を押さえながらⒸの方向に閉じて、Ⓓの方向にスライドさせます。

- 電池／カードカバーが閉まりにくいときは無理に押さず、電池／カードカバーを閉じた状態でOPENの刻印をしっかり押さえ、Ⓓの方向へ押してください。




注意

- 電池を外して約1日放置すると、日時の設定は初期状態に戻ります。

電池使用時のご注意

デジタルカメラは動作状態により、消費電力が大きく変わります。消耗した電池やアルカリ電池などをお使いのときは、電池残量警告（P.18）が表示されずにカメラの電源が切れる場合があります。

別売の電池やACアダプタを上手に選ぶ

このカメラでは付属の電池の他、次の電池・ACアダプタを使用することができます。用途にあわせてお選びください。

●ニッケル水素電池（充電式電池）

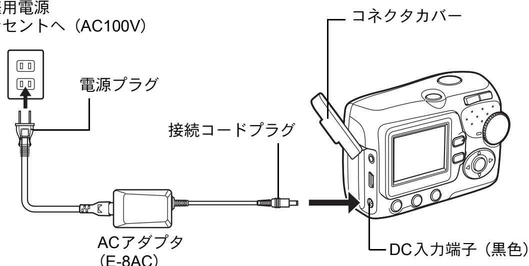
当社製ニッケル水素電池は、繰り返し使用できるので経済的です。ただし、電池の容量を使いきらずに充電を繰り返すと1回の使用時間が次第に短くなります。

●単3アルカリ電池

旅行先などで電池が消耗しても、どこでも入手しやすい単3アルカリ電池がご使用いただけます。ただし、銘柄や使用条件によって撮影可能枚数が大きく変わります。

●ACアダプタ

パソコンへの画像のダウンロード、プリンタへの出力など、時間がかかる作業を行う場合には、ACアダプタの使用をおすすめします。
家庭用コンセントを使う場合は専用のACアダプタ（E-8AC）が必要です。専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。




注意

- マンガン電池、リチウム電池パック（CR-V3）は使用できません。
- 電池を使用してカメラをパソコンやプリンタに長時間接続しているとき、途中で電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。また、接続中には、ACアダプタを抜き差ししないでください。
- カメラの電源が入っているときに電池やACアダプタを抜き差ししないでください。カメラに設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- 電池の寿命は、お使いの電池の種類、メーカー、カメラの使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を消費するため、電池の消費が早くなることがあります。
    - 再生モードで長時間、液晶モニタを点灯する。
    - ズーム動作を繰り返す。
    - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
    - パソコンやプリンタとの接続時。
- 本書の「安全にお使いいただくために」（P.8）およびACアダプタの取扱説明書を必ずお読みください。
- ACアダプタを接続しているときは、カメラに電池が入っていても電力はACアダプタから供給されます。カメラ内の電池は充電されません。

内蔵メモリとカードについて

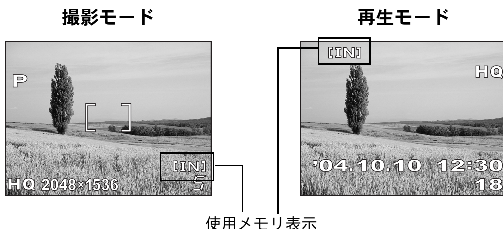
撮影した画像はカメラの内蔵メモリに記録されます。
また、別売のxDピクチャーカード（以降カードと呼びます）に記録することもできます。カードを使うと内蔵メモリより多くの画像を記録しておくことができます。旅行などで枚数をたくさん撮影するときは、カードを使用すると便利です。

内蔵メモリについて

内蔵メモリは、撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。内蔵メモリに記録された画像は自由に削除したり、パソコンで加工することができます。内蔵メモリはカメラから取り出したり、交換することはできません。

内蔵メモリとカードの関係

内蔵メモリまたはカードのどちらを使用して、撮影・再生しているかは液晶モニタの表示で確認できます。



液晶モニタ表示	撮影モードのとき	再生モードのとき
[IN]	内蔵メモリに記録されます。	内蔵メモリ内の画像を再生しています。
[xD]	カードに記録されます。	カード内の画像を再生しています。

- 内蔵メモリとカードを同時に使用することはできません。
- カードが入っているときは、内蔵メモリへ記録・再生はできなくなります。
- 内蔵メモリを使用するときは、カードを抜いてください。
- 内蔵メモリに記録された画像をカードにコピーすることができます。
  ☞「内蔵メモリの画像をカードにコピーする（バックアップ）」（P.86）

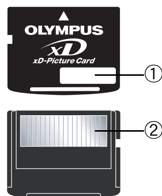
カードを入れる（別売）

このカメラには別売のカード（xD ピクチャーカード）を入れることができます。

カードについて

カードとは、撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。カードに記録された画像は自由に削除したり、パソコンで加工することができます。
容量の大きなカードに交換すると記録できる枚数を増やすことができます。

① インデックスエリア
カードに保存されている内容がわかるように、ここに記入できます。
② 接触面（コンタクトエリア）
カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。



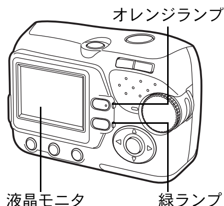
使用できるカード
- xD ピクチャーカード（16～512MB ）


注意

- オリンパス製以外の市販のカードや、パソコンなどの他の機器でフォーマットしたカードは、このカメラで認識できないことがあります。お使いになる前に、必ずこのカメラでフォーマットしてください。☞「フォーマットする」（P.84）

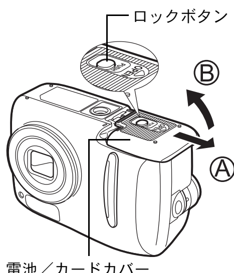
1 カメラの電源が入っていないことを確認します。

- 液晶モニタが消灯している。
- カメラ本体の緑ランプとオレンジランプが消灯している。
- レンズが出ていない。



2 ロックボタンを押しながら、電池／カードカバーをⒶの方向にスライドさせて、Ⓑの方向へ開きます。

- カバーをスライドさせるときは指の腹を使って開けてください。爪などを使うとけがをすることがあります。
- カメラの底面を上にして、電池／カードカバーを開けてください。

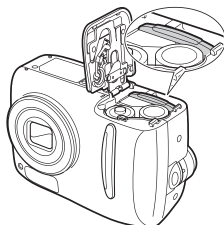


カードを入れる

3 カードの向きを図のように正しく合わせて入れます。

- カードが斜めに入らないようにまっすぐに差し込みます。
- カードを奥まで差し込むとカチッという音がして、ロックされます。
- カードの向きを間違えたり、斜めに入れた場合、接触面が破壊されたり、カードがカメラから抜けなくなることがあります。
- カードが奥まで挿入されていないと、カードに記録できなくなることがあります。





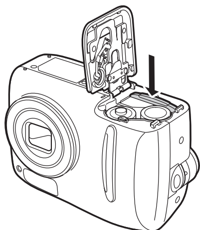
カードが正しく入った状態

1 準備

カードを取り出す

3 カードを一度奥に向かって押しこんで、そのままゆっくり戻します。

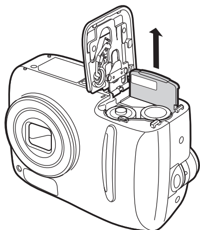
• カードが手前に出て止まります。



注意

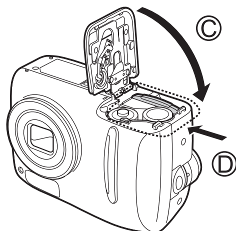
カードを取り出す際にカードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

• カードをつまんで取り出します。



4 電池／カードカバーで電池を押さえながら Ⓒ の方向に閉じて、Ⓓ の方向にスライドさせます。

• 電池／カードカバーが閉まりにくいときは無理に押さず、電池／カードカバーを閉じた状態で OPEN の刻印をしっかり押さえ、Ⓓ の方向へ押してください。



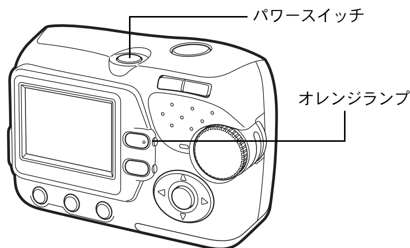

注意

• カードはペンなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。
• カメラの電源が入っているときは、絶対に電池／カードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したりしないでください。内蔵メモリ内またはカード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータは復旧できません。カードを交換するときは、必ず電源を切ってから電池／カードカバーを開けてください。
• カード表面にシールなどを貼ると、カメラから取り出せなくなることがありますので、貼らないでください。

電源を入れる／切る

電源を入れる … **パワースイッチを押します。**

レンズがせり出し、液晶モニタに被写体が表示されます。
オレンジランプが点灯します。
この状態で撮影できます（撮影モード）。



電源を切る … **パワースイッチを押します。**

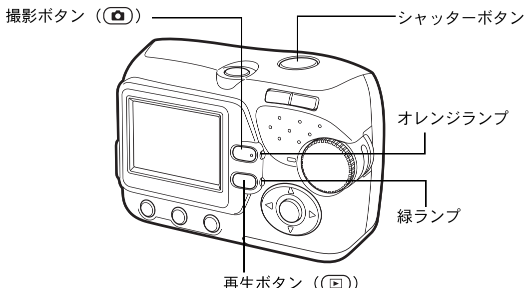
電源が切れます（液晶モニタが消灯します）。
オレンジランプが消灯します。



ヒント

- 電源を入れたまま約30秒間何も操作しないと、カメラは電池の消耗を防ぐためにスリープモード（待機状態）になり、動作を停止します。液晶モニタが自動的に消灯します。シャッターボタン、、またはを押すと、液晶モニタが再び点灯します。スリープモードになるまでの時間を変更することができます。
  ☞「待機状態に入るまでの時間を設定する（スリープ時間）」(P.87)
- スリープモードになってから、15分後には自動的にレンズが収納され、電源が切れます。もう一度電源を入れなおしてください。

撮影モード・再生モードを切り換える



撮影するとき（撮影モード）



- 液晶モニタに被写体が表示されます。
- オレンジランプが点灯します。

再生ボタン（( )）を押します





撮影ボタン（( )）またはシャッターボタンを押します

再生するとき（再生モード）



- 液晶モニタに最後に撮影した画像が表示されます。
- カメラ本体の緑ランプが点灯します。



ヒント

- 電源を入れた後に液晶モニタが一瞬光り、しばらくしてから画像が表示されることがありますが、故障ではありません。

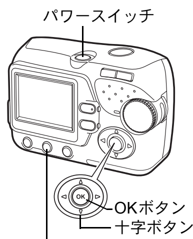

注意

- カメラの電源が入っているときは、絶対に電池／カードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したり、ACアダプタを抜き差ししたりしないでください。内蔵メモリ内またはカード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータは復旧できません。カードを交換するときは、必ず電源を切ってから電池／カードカバーを開けてください。

カメラで表示する言語を切り換える

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを、日本語でなく他の言語にすることができます。日本語に戻すこともできます。
初期設定は日本語になっています。

1 パワースイッチを押します。
- 撮影モードで電源が入ります。
- レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
- オレンジランプが点灯します。



2 を押します。
- メニュー画面が表示されます。



メニュー画面

3 十字ボタンの△ ▽ を押して［ ］を選択します。
- 選択した項目が黄色く表示されます。



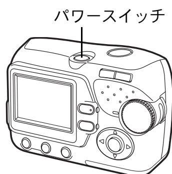
4 または▷を押します。

5 △ ▽ を押して表示したい言語を選択し、㊙ を押します。



6 を押してメニューを終了します。

7 電源を切るときは、パワースイッチを押します。





ヒント

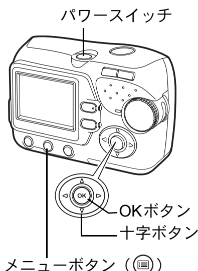
- 再生モードからでも同じ手順で設定することができます。

日付・時刻を設定する（日時設定）

カメラをお使いになる前に、日時の設定を行ってください。パソコンで画像を管理するときや、プリントするときに便利です。

1 パワースイッチを押します。

- 撮影モードで電源が入ります。
- レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
- オレンジランプが点灯します。



2 ▤ を押します。

- メニュー画面が表示されます。



メニュー画面

3 十字ボタンの△ ▽ を押して［日時設定］を選択します。

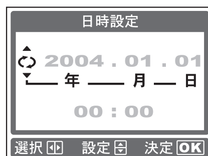
- 選択した項目が黄色く表示されます。



4 OK または ▷ を押します。

5 △ ▽ を押して日付の順序を、“年-月-日”、“月-日-年”、“日-月-年” から選択し、▷を押します。

- 年の入力に移動します。
- 以降の手順は“年-月-日”に設定した場合の説明です。



6 △ ▽ を押して最初の項目を入力し、▷で次の項にすすみます。

- ◁を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- “年”の上 2 桁は固定されています。



7 同様の操作を繰り返し、時刻まで入力します。

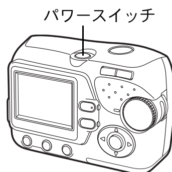
- カメラの時間表示は24時間表示を使用しています。たとえば、午後2時は14：00と表示されます。

8 Ⓞ を押します。

- 0秒の時報に合わせて Ⓞ を押すと、正確に時間を合わせられます。時計はこのとき動き始めます。

9 ⊜ を押してメニューを終了します。

10 電源を切るときは、パワースイッチを押します。





ヒント

- 再生モードからも同じ手順で設定することができます。

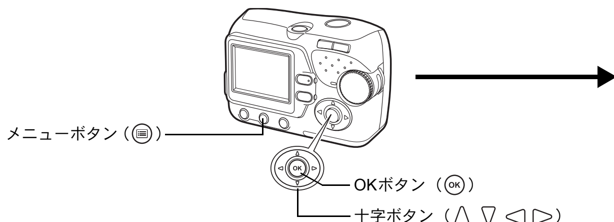

注意

- 電源を切っても、日時の設定は変更するまで保持されます。
- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には、日時の設定が正しいことを確認してください。

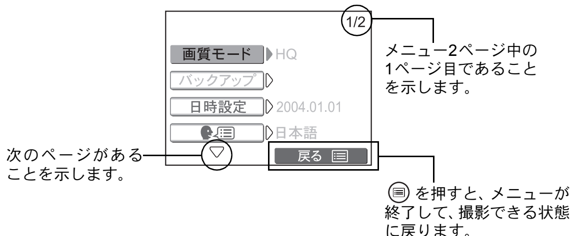
メニューの操作方法

カメラの電源を入れて ⊜ を押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。カメラの各設定はメニューで行います。ここでは撮影モードの画面を使って、メニューの操作方法について説明します。

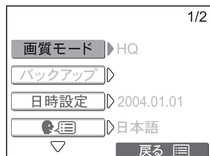
1 ⊜ を押してメニューを表示します。



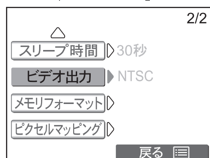
メニュー画面の見方



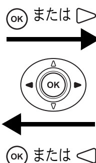
2 △▽を押して設定する項目を選択し、OKまたは▷を押します。





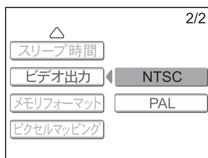


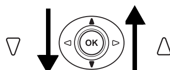
選択された項目が黄色く表示されます。



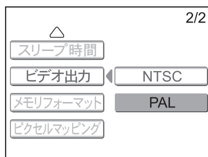
3 △▽を押して設定を変更します。OKまたは◁を押すと設定が完了します。

4 MENUを押すと、メニューが終了し、撮影できる状態に戻ります。





OKまたは◁を押すとメニュー項目の選択に戻ります。



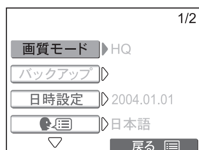

注意

- カメラの状態や設定内容などにより選択できない項目があります。
- メニューで設定した機能は電源を切っても保持されます。［画質モード］は初期設定に戻すことができます。
  ☞「変更した設定を初期設定に戻す（RESET）」（P.82）

メニュー一覧

カメラが撮影モードになっているときと、再生モードになっているときで、表示されるメニュー項目が異なります。

撮影モード





画質モード	撮影する画像の画質や記録サイズを選択します。 静止画　：［SHQ］、［HQ］、［SQ1］、［SQ2］ ムービー：［HQ］、［SQ］	P.63
バックアップ	内蔵メモリ内のすべての画像をカードにコピーします。カードをカメラに入れていないときは、選択できません。	P.86
日時設定	日付と時刻を設定します。	P.34
(言語アイコン)	液晶モニタに表示される言語を切り換えます。	P.32
スリープ時間	カメラがスリープモード（待機状態）に入るまでの時間を選択します。	P.87
ビデオ出力	テレビの映像信号方式に合わせて［NTSC］［PAL］から選択します。映像信号方式は国によって異なります。	P.89
メモリフォーマット（カードフォーマット）	内蔵メモリまたはカードをフォーマットします。	P.84
ピクセルマッピング	CCDと画像処理機能のチェックを行います。	P.88

再生モード



自動再生	記録されている静止画を順に表示します。再生方法を［➡］（一周）［🔁］（エンドレス）から選択します。	P.74
バックアップ	内蔵メモリ内のすべての画像をカードにコピーします。カードをカメラに入れていないときは、選択できません。	P.86
プリント予約	撮影した画像のプリント条件を設定します。カードをカメラに入れていないときは、選択できません。	P.90
プロテクト	画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。	P.79
回転表示	撮影した画像を［ ］（時計回り）、または［ ］（反時計回り）に回転して表示させます。	P.71
メモリセットアップ（カードセットアップ）	内蔵メモリ内またはカード内のすべての画像の消去やフォーマットをします。	P.81, 84
日時設定	日付と時刻を設定します。	P.34
（言語アイコン）	液晶モニタに表示される言語を切り換えます。	P.32

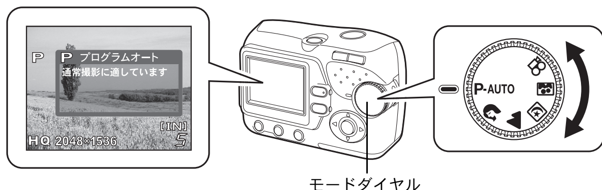
スリープ時間	カメラがスリープモード（待機状態）に入るまでの時間を選択します。	P.87
ビデオ出力	テレビの映像信号方式に合わせて［NTSC］［PAL］から選択します。映像信号方式は国によって異なります。	P.89
インデックス表示	インデックス再生時、液晶モニタに表示する画像の枚数を選択します。	P.73


ヒント

- 撮影モードと再生モードで共通のメニュー項目は、どちらのモードで設定しても同じ設定になります。

撮影モードについて

このカメラは静止画撮影とムービー撮影ができます。
モードダイヤルを使って撮影の種類を切り換えてから撮影します。撮影の目的や状況に合わせて、モードダイヤルを合わせるだけで撮影シーンに適した設定で撮影できます。
モード変更はカメラの電源が入っている状態でもできます。
モードダイヤルを合わせると、各モードの説明が液晶モニタに表示されます。



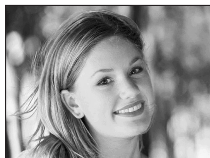
● P-AUTO プログラムオート

通常の撮影に使用します。自然な色合いになるようにカメラが自動的に設定します。フラッシュなどその他の機能は、自由に設定できます。



● ポートレート

人物撮影をするのに最適です。肌色の質感の再現を重視しています。カメラが自動的にポートレート撮影に適した条件を設定します。



● 風景

風景を撮るのに最適です。カメラが自動的に風景撮影に適した条件を設定します。



● 夜景

夜の景色を撮るのに最適です。通常の撮影よりも長いシャッター速度で撮影します。夜景以外のモードで街灯が輝く街の夜景を撮影すると、明るさが不足するので光っている点だけの画像になってしまいます。夜景モードでは、街の様子も写し出します。カメラが自動的に夜景撮影に適した条件を設定します。フラッシュを発光させると夜景と人物を同時に撮影することができます。





通常撮影（フラッシュ発光時）





夜景（フラッシュ発光時）

● セルフポートレート

撮影者がカメラを持って、自分を撮るのに最適です。ピントは近くに合うようになっています。カメラが自動的にセルフポートレート撮影に適した条件を設定します。ズームは広角の位置で固定され、変更できません。



● ムービー

ムービーを撮影します。
撮影中はピントとズームが固定されますので、被写体との距離が変化するとピントが外れる場合があります。音声は記録されません。
☞「ムービーを撮る」（P.51）





ヒント

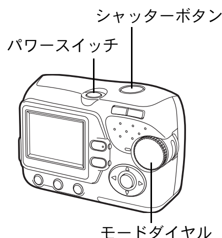
- 各モードで設定できる機能については☞「撮影モード別の設定可能な機能」（P.141）を参照してください。

注意

- セルフポートレートモードでは、マクロ、スーパーマクロ撮影はできません。
- フラッシュの設定は夜景モードとは独立して設定できます。
  ☞「フラッシュを使う」（P.55）
- 夜景撮影時は、シャッター速度が遅くなりますので、カメラを三脚などで固定して撮影してください。

静止画を撮る

液晶モニタを見ながらシャッターボタンを押すだけで、手軽に撮ることができます。
撮影した画像は、カードを挿入していないときはカメラの内蔵メモリに保存され、カードを挿入しているときはカードに保存されます。



1 パワースイッチを押します。
- 撮影モードで電源が入ります。
- レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
- オレンジランプが点灯します。

2 モードダイヤルを回してP-AUTO、[ポートレート]、[風景]、[夜景]、[風景＆人物]のいずれかに合わせます。
☞「撮影モードについて」（P.42）

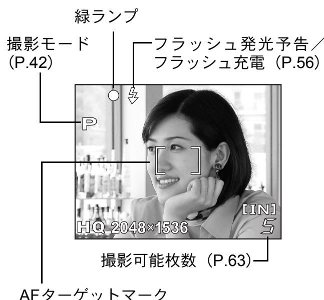
3 液晶モニタを見ながらAFターゲットマークに被写体を合わせ、構図を決めます。

カメラの構え方

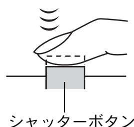
両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。



レンズとフラッシュに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。

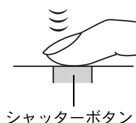


4 シャッターボタンを軽く押して（半押し）、ピントを合わせます。



- ピントと露出が固定されると、液晶モニタの緑ランプが点灯します。（フォーカスロック）
- フラッシュが発光するときは、⚡マークが点灯します。

5 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます（全押し）。



- 撮影されます。
- 内蔵メモリまたはカードに画像を保存している間はオレンジランプが点滅します。点滅が終わると、次の撮影が可能になります。

ヒント

ねらった被写体にピントが合わない

☞「ピントが合わないときは」（P.48）

液晶モニタの緑ランプが点滅している

→ 被写体までの距離が近すぎます。広角側で50cm以上離れて撮影してください（望遠側のとき：90cm）。スーパーマクロモードに設定すると、約2cmまで近づいて撮影できます。☞「近くのものを撮る（マクロ撮影）」（P.59）

→ 被写体の条件によってはピントが固定されないことがあります。☞「ピントが合わないときは」（P.48）

シャッターボタンを半押ししたときに、⚡マークが点滅している

→ フラッシュ充電中です。消灯するまでお待ちください。

液晶モニタが自動的に消灯した

→ 30秒以上何も操作をしないと、スリープモード（待機状態）になり、液晶モニタは消灯します。シャッターボタン、または（📷）を押すと再び点灯します。
☞「待機状態に入るまでの時間を設定する（スリープ時間）」（P.87）

液晶モニタが見にくい

→ 晴天下のように明るい場所では、液晶モニタの画像に縦スジが入ることがあります。撮影画像への影響はありません。

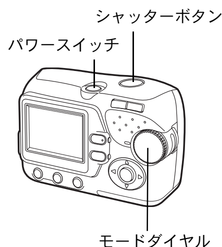

注意

- シャッターボタンは静かに押してください。シャッターボタンを強く押すとカメラが動き、ぶれる原因になります。
- オレンジランプが点滅しているときは、絶対に電池やACアダプタを抜かないでください。また、電池／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、撮影済みの画像が破壊されるおそれがあります。
- 強い逆光などで撮影すると、画像の影の部分に色がつくことがあります。

ピントが合わないときは

ピントを合わせたいものがAFターゲットマークから外れる（構図の中央にない）ときは、以下の方法で被写体にピントを固定して撮影することができます。これをフォーカスロックといいます。

ピントを合わせてから構図を決める（フォーカスロック）



1 パワースイッチを押します。

- 撮影モードで電源が入ります。
- レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
- オレンジランプが点灯します。

2 モードダイヤルを回して撮影モードを選択します。

☞「撮影モードについて」（P.42）

3 ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせます。

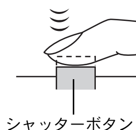
- ピントが合いにくいものの場合はまず撮影したいものとほぼ同じ距離のものにカメラを向けます。



AFターゲットマーク

4 シャッターボタンを緑ランプが点灯するまで半押しします。

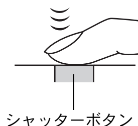
- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。
- 緑ランプが点滅したときは、ピントと露出が固定されていません。シャッターボタンから指を離し、ピントを合わせる位置を少しずらしてもう一度シャッターボタンを半押ししてください。



5 半押しの状態のまま撮影したい構図に合わせます。



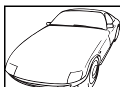
6 シャッターボタンを全押しします。

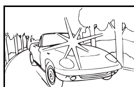


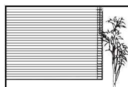
オートフォーカスが苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。いずれの場合も、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。また、縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横に戻して撮影しても効果的です。

緑ランプ点滅
このようなものにはピントが合いません

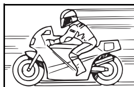

コントラストがはっきりしない被写体


画面中央に極端に明るいものがある場合


縦線のないもの

緑ランプは点灯するが、写したいものにピントが合わない


遠いものと近いものが混在する場合


動きの速いもの

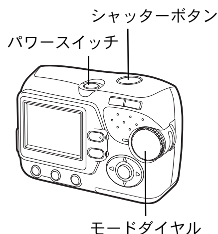

ピントを合わせたいものが中央にない

ムービーを撮る

ムービーが撮影できます。撮影したムービーはカメラで再生できます。音声は記録されません。
撮影中はピントとズームが固定されますので、被写体との距離が変化するとピントが外れる場合があります。

1 パワースイッチを押します。

- 撮影モードで電源が入ります。
- レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
- オレンジランプが点灯します。



2 モードダイヤルを回して、 に合わせます。

- 内蔵メモリまたは使用しているカードで記録できる撮影可能時間が表示されます。

3 構図を決めます。

- ズームボタンで被写体を拡大できます。「拡大して撮る」（P.53）



3
撮影

4 シャッターボタンを半押しします。

5 シャッターボタンを全押しして撮影を始めます。

- ピントとズームは固定されます。
- ムービー撮影中は 🎥 マークが赤く点灯します。

6 もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。

- 撮影可能時間が0になると、自動的に撮影を終了します。
- 内蔵メモリまたはカードに空き容量がある場合は、撮影可能時間が表示され、次の撮影ができます。


注意

- フラッシュは使用できません。
- 撮影中に撮影可能時間が急激に減ることがあります。この場合は、このカメラで内蔵メモリまたはカードをフォーマットしてから使用してください。☞「フォーマットする」（P.84）

長時間ムービー撮影をする場合のご注意

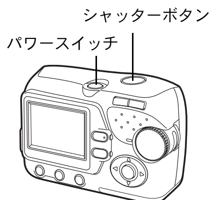
- 撮影中は、再度シャッターボタンを押してムービー撮影を終了しない限り、内蔵メモリまたはカードの空き容量がなくなるまで撮影は続きます。
- 一度のムービー撮影で内蔵メモリまたはカードの空き容量がなくなったときは、その画像を消去するか、パソコンにダウンロードしてから消去して、内蔵メモリまたはカードに空きを作ってください。

拡大して撮る

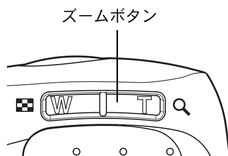
ズーム倍率3.0倍（光学ズーム 、35mmカメラ換算：38mm ~ 114mm）の望遠や広角撮影が行えます。デジタルズームと組み合わせて使用すると、最大約12倍の撮影ができます。

1 パワースイッチを押します。

- 撮影モードで電源が入ります。
- レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
- オレンジランプが点灯します。



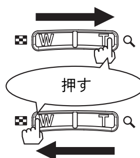
2 ズームボタンを押します。

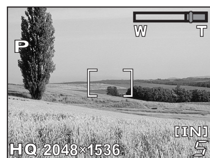


広角：ズームボタンのW側を押す

望遠：ズームボタンのT側を押す







ズームの拡大率によってカーソルが左右に移動します。

- ズームバーの白い部分が光学ズームの領域です。赤い部分がデジタルズームの領域です。光学ズームで最大までズームアップし、続けてT側を押すとデジタルズームになります。

3 撮影

3 撮影します。


注意

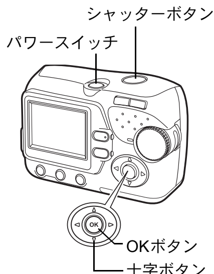
- デジタルズームの領域で撮影すると、画像が粗くなることがあります。
- 高倍率になるほど手ぶれが起こりやすくなります。手ぶれ防止のため、三脚を使うなどして、カメラを固定してください。
- セルフポートレートモードでは、ズームは使用できません。

フラッシュを使う

撮影状況、目的にあわせてフラッシュの設定をお選びください。

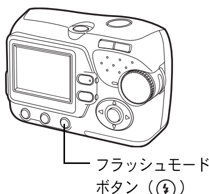
1 パワースイッチを押します。

- 撮影モードで電源が入ります。
- レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
- オレンジランプが点灯します。



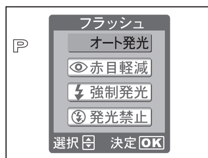
2 (⚡)を押します。

- フラッシュの設定画面が表示されます。



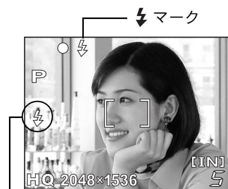
3 △ ▽ を押してフラッシュモードを選択し、(OK)を押します。

- (⚡)を繰り返し押して設定することもできます。
- 3秒間何も操作しないと、現在の設定で確定して、フラッシュの設定画面が消えます。



4 シャッターボタンを半押しします。

• フラッシュが発光条件のときは、
⚡マークが点灯します。



5 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

フラッシュの到達距離
広角側：約0.2～3.8m
望遠側：約0.5～2.2m



ヒント

⚡（フラッシュ充電中）マークが点滅した

→ フラッシュ充電中です。⚡マークが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。
→ フラッシュが［発光禁止］のときに、手ぶれのおそれがあるときは、⚡マークが点滅します。［発光禁止］以外に設定してください。



注意

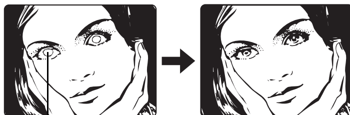
• 以下の場合、フラッシュは使用できません。
　ムービー撮影／スーパーマクロ撮影
• マクロ撮影でズームがW（広角）側にあるときは特に、画面内で光の量がムラになることがあります。必ず再生して画像を確認してください。

●オート発光（表示なし）

暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
逆光で撮影するときは、撮りたいものにAFターゲットマークを合わせて撮影してください。

●赤目軽減（◎）

人物を撮影すると目が赤く写ることがありますが、［赤目軽減］に設定するとこの現象が軽減されます。本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。


目が赤く写ります


注意

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合や、予備発光を見ていない場合、距離が遠い場合などや個人差により、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

●強制発光（ϟ）

フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときに使用します。




注意

- 非常に明るい状況下では、効果が現れにくくなることがあります。

3
撮影

●発光禁止（ⓢ）

暗いところでも発光させたくないときに使用します。フラッシュを使用できない場所での撮影に使用します。フラッシュが届かない夜景・夕景を撮りたいときにも使用します。


注意

• 暗いところの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、カメラぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。

近くのものを撮る（マクロ撮影）

このカメラは2種類のマクロ撮影ができます。

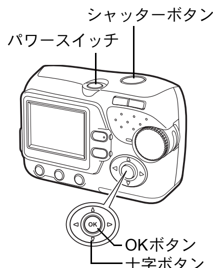
マクロ撮影（）：近接した被写体（広角側：20～50cm／望遠側：50～90cm）を撮影するときに使います。通常の撮影もできますが、遠距離の被写体にピントを合わせるのに時間がかかります。

スーパーマクロ撮影（）：被写体に約2cm まで接近して撮影できます。ズーム位置は自動的に固定されて変更はできません。通常の撮影距離には、ピントは合いません。

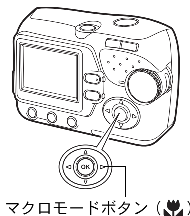

通常撮影


マクロ撮影

1 パワースイッチを押します。
- 撮影モードで電源が入ります。
- レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
- オレンジランプが点灯します。



2 ▷（）を押します。
- マクロの設定画面が表示されます。



3
撮影

3 △ ▽ を押して、マクロモードを選択し、㊉ を押します。

- 3 秒間何も操作しないと、現在の設定で確定して、マクロの設定画面が消えます。



4 撮影します。


注意

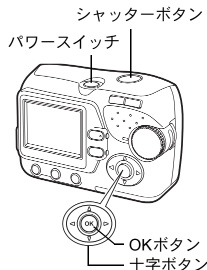
- マクロモード設定時にフラッシュを使うと、影が目立ったり適正な明るさにならないことがあります。
- スーパーマクロ撮影では、ズームやフラッシュは使えません。
- セルフポートレートでは、マクロ、スーパーマクロ撮影はできません。
- 被写体に近づいて撮影する場合、被写体が影になりやすく、ピントが合いにくくなることがあります。

セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使って撮影します。カメラを三脚などにしっかり固定して撮影してください。記念写真を撮るときなどに便利です。

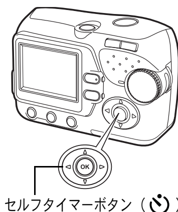
1 パワースイッチを押します。

• 撮影モードで電源が入ります。
• レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
• オレンジランプが点灯します。



2 ◁（ᯣ）を押します。

• セルフタイマーの設定画面が表示されます。



3 △ ▽ を押して[ᯣオン]を選択し、Ⓞを押します。

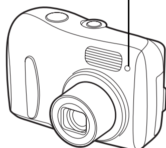
• 3 秒間何も操作しないと、現在の設定で確定して、セルフタイマーの設定画面が消えます。



3
撮影

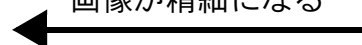
4 撮影します。

- シャッターボタンを押すとセルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに2秒間点滅した後、撮影されます。
- ムービー撮影の場合、再度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了させてください。
- 作動中のセルフタイマーを中止するには、◁を押します。
- セルフタイマーモードは、1回の撮影が終わると自動的に解除されます。



画質モードを選択する（画質モード）

撮影する画像の画質を設定します。プリント用、パソコンでの加工用、ホームページ用など、用途に合わせて画質モードをお選びください。設定可能なモードや記録サイズ、内蔵メモリまたはカードへの撮影可能枚数・時間については以下の表を参照ください。数値は目安です。



画像サイズが大きくなる

用途	圧縮 / 画像サイズ	低圧縮	高圧縮
プリントサイズに合わせて選択	2048×1536	SHQ	HQ
	1600×1200		SQ1
小さいプリントやホームページ用	640×480		SQ2

静止画画質モード

画質モード	画像サイズ（ピクセル）	撮影可能枚数（枚）	
		内蔵メモリ	カード（32MBの場合）
SHQ	2048×1536	5	13
HQ		14	39
SQ1	1600×1200	18	48
SQ2	640×480	68	183

ムービー画質モード

画質モード	画像サイズ	撮影可能時間	
		内蔵メモリ	カード（32MBの場合）
HQ	320×240	36秒	1分37秒
SQ	160×120	2分25秒	6分28秒



ヒント

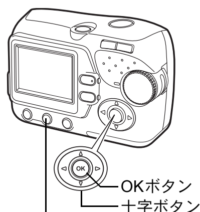
- **画像サイズ**
  画像を内蔵メモリまたはカードに記録する際の大きさ（横の画素数×縦の画素数）です。画像をプリントするときは、大きなサイズで記録しておくときれいにプリントされます。ただし、画像サイズが大きくなるほどファイルサイズ（データの量）も大きくなり、内蔵メモリまたはカードに記録できる枚数は少なくなります。
- **画像サイズとパソコンモニタ上での画像の大きさ**
  撮影した画像をパソコン上で見る場合に表示される画像の大きさは、パソコンのモニタ設定によって異なります。たとえば、1024×768ピクセルの画像サイズで撮影された画像は、パソコンのモニタ設定が1024×768のとき画像を等倍（100％）で表示すると、モニタ全体に表示されます。モニタ設定がそれ以上（1280×1024など）になると、モニタの一部にしか表示されません。


注意

- 撮影可能枚数・時間はおおよその目安です。
- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行っても液晶モニタに表示される枚数が変わらないことがあります。

1 撮影モードでメニューから［画質モード］を選択し、㊖を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.37）



2 △ ▽を押して画質モードを選択します。

- 静止画の場合は［SHQ］［HQ］［SQ1］［SQ2］から選択します。



- ムービーの場合は［HQ］［SQ］から選択します。



3 ㊖を押します。

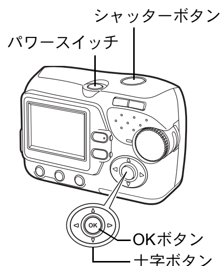
- ▤を押すと、メニューが終了します。

画像の明るさを変える（露出補正） 

撮影する被写体によっては、カメラが自動的に設定した露出を補正したほうがよいときがあります。1/3EV刻みで±2.0の範囲で設定できます。
液晶モニタで、露出を補正した結果が確認できます。

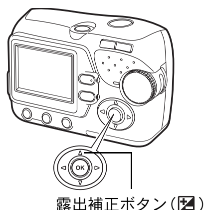
1 パワースイッチを押します。

- 撮影モードで電源が入ります。
- レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
- オレンジランプが点灯します。



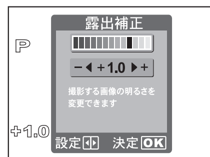
2 △（露出補正）を押します。

- 露出補正の設定画面が表示されます。



3 ◁▷を押して補正値を選択し、OKを押します。

- プラス［＋］で明るく、マイナス［－］で暗くなります。
- 3秒間何も操作しないと、現在の設定で確定して、露出補正の設定画面が消えます。





4 撮影します。



ヒント

- 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く映ってしまいますが、+に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆に−に補正すると効果的です。


注意

- フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。
- 撮るものの周囲が極端に明るいときや極端に暗いときは、露出補正では補正しきれないことがあります。

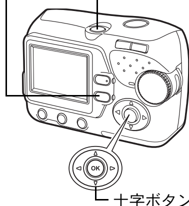
静止画を見る



カードを入れているときは、カードの画像が再生されます。内蔵メモリの画像を再生するときは、カードを抜いてください。

1 パワースイッチを押して電源を入れ、(▶)を押します。

- 再生モードになります。
- カメラ本体の緑ランプが点灯します。

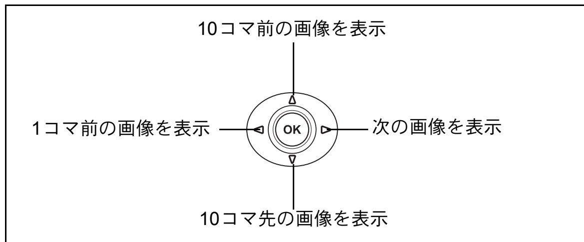


- 液晶モニタが点灯し、最後に撮影した画像が表示されます。（1コマ再生）
- (📷)またはシャッターボタンを押すと、撮影モードに切り換わります。



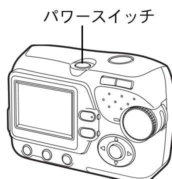
1コマ再生画面

2 十字ボタンで見たい画像を表示します。



3 電源を切るときは、パワースイッチを押します。

- 液晶モニタが消灯して電源が切れます。
- カメラ本体の緑ランプが消灯します。




注意

- 電源を入れたまま約30秒間何も操作しないと、カメラは電池の消耗を防ぐためにスリープモード（待機状態）になり、動作を停止します。液晶モニタが自動的に消灯します。(▶) を押すと、液晶モニタが再び点灯します。スリープモードになるまでの時間を変更することができます。☞「待機状態に入るまでの時間を設定する（スリープ時間）」（P.87）

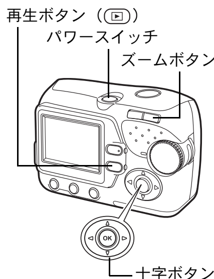
クローズアップ再生



液晶モニタに表示される画像を4倍まで段階的に拡大表示します。

1 パワースイッチを押して電源を入れ、(▶)を押します。

- 再生モードになります。
- カメラ本体の緑ランプが点灯します。



2 十字ボタンで拡大したい静止画を選択します。

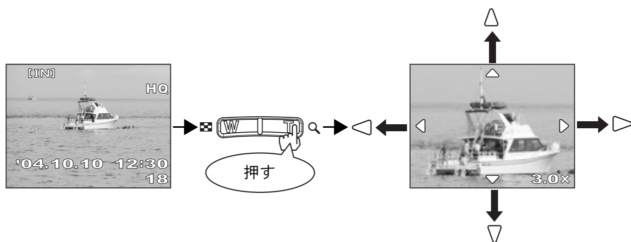
- 🎥のついた画像は、拡大できません。
- インデックス再生画面のときは、ズームボタンのT側（🔍）を押して、選択した画像を全画面表示させます。（1コマ再生）

4

再生

3 ズームボタンのT側（🔍）を押します。

- T側（🔍）を押すごとに拡大して表示されます。
- W側（▦）を押すと1倍の大きさに戻ります。
- 拡大表示中に十字ボタンを押すと、その方向に画像をずらして表示することができます。



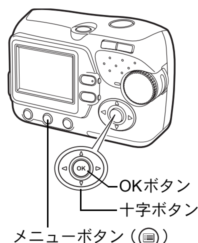


注意

- 拡大した状態で画像を保存することはできません。

回転再生

カメラを縦に構えて撮影した画像は、横向きに表示されます。このような場合、回転再生を使って画像を縦向きに表示することができます。時計方向に90度、反時計方向に90度の回転ができます。



1 再生モードでメニューから[回転表示]を選択し、⊛ を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.37）

2 ◁▷を押して回転させたい画像を選択します。

3 △▽を押して［⎕↶］［↷⎕］から選択し、⊛ を押します。

• 画像が回転して表示されます。



［⎕↶］　　撮影時の画像　　［↷⎕］

4 △▽を押して［終了］を選択し、⊛ を押します。

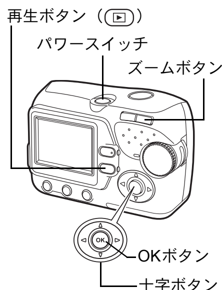
• ⊜ を押すとメニューが終了します。


注意

• 次の画像は回転再生できません。
　ムービー画像／プロテクトされた画像／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像
• 電源を切っても、回転した状態は画像に記録されています。

インデックス再生 

液晶モニタに複数の画像を一度に表示します。表示するコマ数を4または9から選ぶことができます。☞「インデックス分割数を変えるには（インデックス表示）」（P.73）



1 パワースイッチを押して電源を入れ、▶を押します。

- 再生モードになります。
- カメラ本体の緑ランプが点灯します。

2 ズームボタンのW側（⊞）を押すとインデックス再生になります。

- 十字ボタンを押して画像を選択します。
  ▷：1つ次のコマへ移動。
  ◁：1つ前のコマへ移動。
  △：1つ上のコマへ移動。
  ▽：1つ下のコマへ移動。
- ズームボタンのT側（🔍）またはⓄⓀを押すと1コマ再生になります。



インデックス再生画面

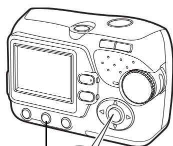
4 再生

インデックス分割数を変えるには（インデックス表示）

インデックス再生のコマ数を4または9コマから選択します。

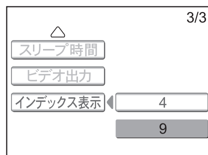
1 再生モードでメニューから［インデックス表示］を選択し、㋪を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.37）



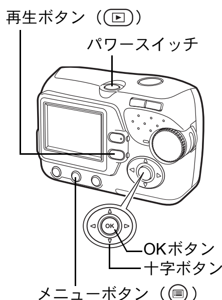
2 △ ▽ を押して［4］［9］から選択し、㋪を押します。

- ▤を押すと、メニューが終了します。



自動再生

内蔵メモリまたはカードに記録されている静止画像を1枚ずつ自動的に再生します。ムービー画像は、最初のフレームのみが静止画と同じように再生されます。



1 パワースイッチを押して電源を入れ、▶を押します。

- 再生モードになります。
- カメラ本体の緑ランプが点灯します。

2 静止画像を選択します。

3 メニューから［自動再生］を選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.37）

4 △▽を押し、［→］［⇄］から選択し、OKを押します。



- 自動再生がスタートします。
  - → ：記録されている画像を順番に再生し、一周すると停止します。
  - ⇄ ：記録されている画像を繰り返し再生します。
  - **中止** ：再生メニューに戻ります。
- OKを押すと、自動再生が終了します。



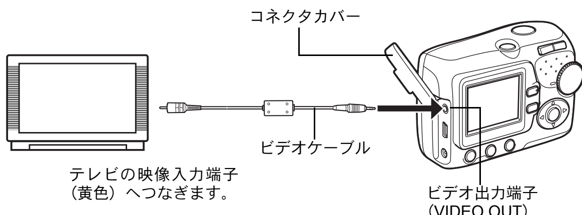
ヒント

- 長時間自動再生を行う場合は、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。電池をお使いの場合、自動再生がスタートして30分経過すると自動的に自動再生が終了し、カメラの電源が切れます。

テレビでの再生

付属のビデオケーブルでテレビに接続して画像を再生します。
静止画とムービーのどちらも再生できます。

1 カメラとテレビの電源を切り、ビデオケーブルでカメラのビデオ出力端子とテレビのビデオ入力端子を接続します。



2 テレビの電源を入れて「ビデオ入力」に設定します。

- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 パワースイッチを押して電源を入れ、(▶)を押します。

- 最後に撮影した画像がテレビに表示されますので、十字ボタンで表示する画像を選択します。
- クローズアップ再生、インデックス再生、自動再生などの再生機能が可能です。



ヒント

- テレビで再生する場合は、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。


注意

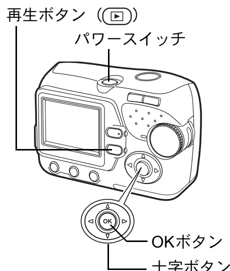
- カメラのビデオ信号が､お使いのテレビの映像信号に合っていることを確認してください。☞「ビデオ出力方式を設定する（ビデオ出力)」（P.89）
- ビデオケーブルを接続すると、カメラの液晶モニタ表示は消えます。
- テレビとの接続には必ず付属のビデオケーブルをご使用ください。
- テレビにより画像が画面中央からずれることがあります。

ムービーを見る



1 パワースイッチを押して電源を入れ、(▶)を押します。

- 再生モードになります。
- カメラ本体の緑ランプが点灯します。



2 十字ボタンで🎥マークの付いた画像を表示します。

☞「静止画を見る」（P.68）

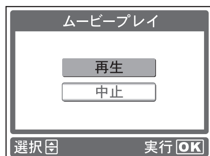


3 (OK)を押します。

- ムービーが再生されます。再生が終わると再生モードに戻ります。



- ムービープレイを途中で中止するときは、(OK)を押します。△ ▽ を押して［中止］を選択し、(OK)を押します。

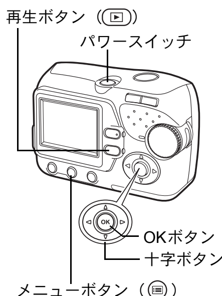



注意

- オレンジランプが点滅しているときは、内蔵メモリまたはカードからカメラへの画像の読み出しが行われています。画像の読み出しには時間がかかることがあります。オレンジランプの点滅中は、絶対に電池／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、内蔵メモリまたはカードが破壊され使用できなくなる場合があります。

画像にプロテクト（保護）をかける 

残しておきたい大切な画像は、プロテクト（保護）を設定してください。1コマ消去や全コマ消去の操作をしても、プロテクトされた画像は消去されません。



1 パワースイッチを押して電源を入れ、(▶)を押します。
- 再生モードになります。
- カメラ本体の緑ランプが点灯します。

2 メニューから［プロテクト］を選択し、(OK)を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.37）



プロテクトされると表示されます。

3 ◁ ▷を押してプロテクトしたい画像を選択します。

4 △ ▽を押して［オン］を選択し、(OK)を押します。
- プロテクトを解除するには、［オフ］を選択します。

5 △ ▽を押して［終了］を選択し、(OK)を押します。
- (≡)を押すと、メニューが終了します。



注意

- プロテクトされた画像は1コマ消去／全コマ消去で消去されませんが、フォーマットを行うとすべて消去されます。

4 再生

画像を消去する

撮影した画像はこのカメラで消去することができます。再生している1コマのみを消去する「1コマ消去」と内蔵メモリ内またはカード内に記録されているすべての画像を消去する「全コマ消去」があります。

- 内蔵メモリ内の画像を消去したいときは、カードをカメラに入れないでください。
- カード内の画像を消去したいときは、あらかじめカードをカメラに入れてください。

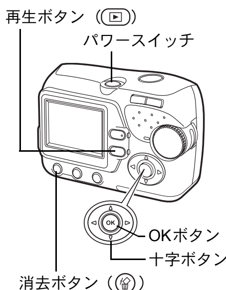

注意

- 消去したい画像がプロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。
- 消去した画像は元に戻せません。大切なデータを消さないように十分に注意してください。☞「画像にプロテクト（保護）をかける」（P.79）

4 再生

1コマ消去

1 パワースイッチを押して電源を入れ、▶を押します。
- 再生モードになります。
- カメラ本体の緑ランプが点灯します。



2 十字ボタンで消去したい画像を表示します。
☞「静止画を見る」（P.68）

3 🗑を押します。

4 △▽を押して［消去］を選択してOKを押します。
- 画像が消去され、メニューが終了します。



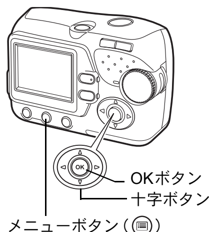
全コマ消去

内蔵メモリ内またはカード内のすべての画像を消去します。

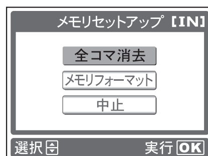
1 再生モードでメニューから[メモリセットアップ]を選択し、㊍を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.37）

• カードを入れているときは［カードセットアップ］を選択します。

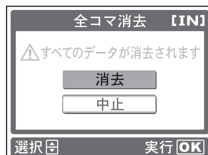


2 △ ▽ を押して［全コマ消去］を選択して、㊍を押します。



3 △ ▽ を押して［消去］を選択して、㊍を押します。

• すべての画像が消去されます。



4

再生

変更した設定を初期設定に戻す（RESET）

このカメラは電源を切った後も変更した設定を保持しています。RESET（リセット）機能は、変更した設定を初期設定に戻す機能です。RESET機能が適用される機能については、次頁の表を参照してください。

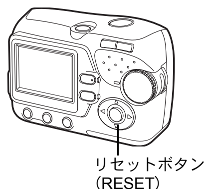
例：［画質モード］を［SQ1］に変更してもRESET機能を実行すると初期設定の［HQ］に戻ります。

1 パワースイッチを押します。

- 撮影モードで電源が入ります。
- レンズがせり出し、液晶モニタが点灯します。
- オレンジランプが点灯します。

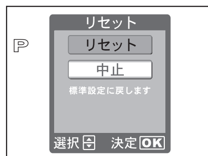


2 ▽（RESET）を押します。



3 △▽を押して［リセット］を選択し、Ⓞを押します。

- 初期設定に戻ります。



●RESET機能を実行したとき、設定が元に戻る機能とその設定

機能名	初期設定	参照頁
フラッシュ	オート	P.55
マクロ	オフ	P.59
露出補正	0.0	P.66
セルフタイマー	オフ	P.61
画質モード	HQ	P.63

フォーマットする

内蔵メモリまたはカードをフォーマットします。フォーマットとは、このカメラで書き込みできるように初期化することです。
フォーマットするとプロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。内蔵メモリまたは使用中のカードをフォーマットするときは大切なデータを消さないようご注意ください。


注意

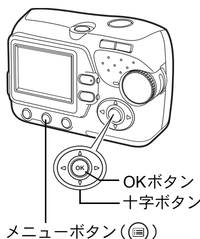
- 内蔵メモリをフォーマットする場合は、カードを入れないでください。
- カードをフォーマットする場合は、あらかじめカードを入れてください。
- 当社製以外のカードやパソコンでフォーマットしたカードを使用する場合は、必ずこのカメラでフォーマットしてください。

1 撮影モードでメニューから[メモリフォーマット]を選択し、Ⓞを押します。

- カードを入れているときは［カードフォーマット］を選択します。
  →手順3に進んでください。

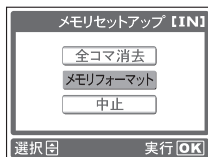
再生モードでメニューから[メモリセットアップ]を選択し、Ⓞを押します。

- カードを入れているときは、［カードセットアップ］を選択します。
  ☞「メニューの操作方法」（P.37）



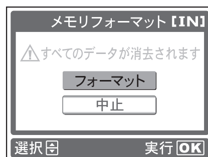
- 以降の画面は、再生モードで内蔵メモリをフォーマットするときの画面です。

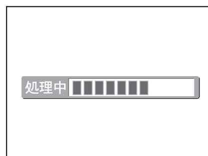
2 △ ▽ を押して［メモリフォーマット］を選択し、㊉ を押します。



3 △ ▽ 押して［フォーマット］を選択し、㊉ を押します。

- 画面に処理中のバーが表示され、フォーマットされます。






注意

- フォーマット中は絶対に次のことをしないでください。内蔵メモリまたはカードが使用できなくなるおそれがあります。
  - 電池／カードカバーを開ける
  - 電池を取り外す
  - ACアダプタの抜き差しをする

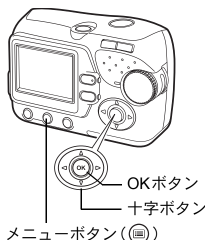
内蔵メモリの画像をカードにコピーする（バックアップ）

内蔵メモリに記録したすべての画像データをカードにコピー（バックアップ）します。バックアップをしても内蔵メモリ内の画像は消去されません。**バックアップ機能を使用するには、別売のカードが必要です。カードをカメラに入れてから操作してください。**

1 メニューから［バックアップ］を選択し、㊖を押します。

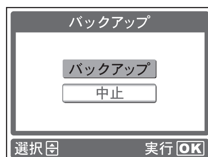
☞「メニューの操作方法」（P.37）

- 撮影モード、再生モードのどちらからでも行うことができます。



2 △▽を押して［バックアップ］を選択し、㊖を押します。

- 内蔵メモリのすべての画像データがカードにコピーされます。
- ▤を押すと、メニューが終了します。




注意

- カードの容量が不足しているときは「カード残量がありません」と表示され、バックアップは行われません。
- ▭マークが点滅しているときは、電池の残量が不足しているため、バックアップはできません。
- バックアップ中に電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。
- バックアップ中は絶対に電池／カードカバーを開けたり、電池を取り外したりしないでください。また、ACアダプタの抜き差しをしないでください。内蔵メモリまたはカードが正常に動作しなくなるおそれがあります。

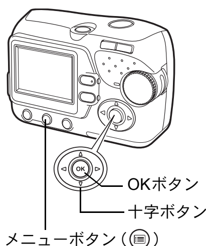
待機状態に入るまでの時間を設定する（スリープ時間）

カメラは、何も操作しない状態で設定した時間が経過すると、スリープモード（待機状態）になり、動作を停止します。スリープに入るまでの時間を設定することができます。

1 メニューから［スリープ時間］を選択し、Ⓞを押します。

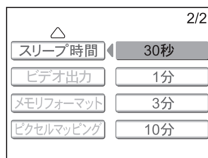
☞「メニューの操作方法」（P.37）

- 撮影モード、再生モードのどちらからでも行うことができます。



2 △ ▽ を押して、［30秒］［1分］［3分］［10分］から選択し、Ⓞを押します。

- を押すと、メニューが終了します。

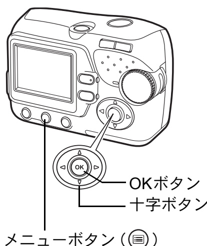


画像処理機能をチェックする(ピクセルマッピング)

CCDと画像処理機能のチェックを同時に行います。この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けて実行します。

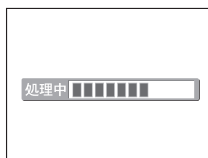
1 撮影モードでメニューから[ピクセルマッピング]を選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」(P.37)



2 △ ▽ を押して[スタート]を選択し、OKを押します。

- ピクセルマッピング実行中のバーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。
- (メニュー)を押すと、メニューが終了します。




注意

- 誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

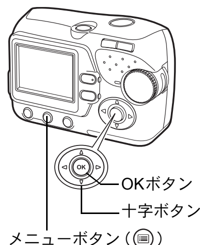
ビデオ出力方式を設定する（ビデオ出力）

お使いのテレビの映像信号に合わせて、NTSCまたはPALを選択します。海外でテレビに接続して再生するときに、設定を合わせてください。［ビデオ出力］はビデオケーブルを接続する前に設定してください。間違った映像（ビデオ）信号を選択すると、テレビで画像が正しく再生できません。

1 メニューから［ビデオ出力］を選択し、ⓞⓚ を押します。

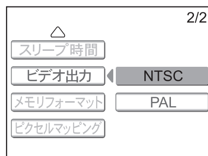
☞「メニューの操作方法」（P.37）

- 撮影モード、再生モードのどちらからでも行うことができます。



2 △ ▽ を押して、［NTSC］［PAL］から選択し、ⓞⓚ を押します。

- ▤ を押すと、メニューが終了します。





ヒント

主な国と地域のテレビ映像信号

カメラをテレビに接続する前に、あらかじめご確認ください。

NTSC　日本、台湾、韓国、北米
PAL　ヨーロッパ諸国、中国

6 プリント予約（DPOF）

プリント予約とは

プリント予約とは、カード内の画像に、プリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。

> プリント予約は、カードに記録された画像にのみ設定することができます。あらかじめ画像が記録されているカードをカメラに入れてください。

プリント予約をすると、DPOF 対応のプリンタやDPOF 対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。
DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格で、プリントショップや家庭でのプリントアウトで自動プリントが可能なように、プリントしたい画像や枚数などの指定をカードに記録します。
プリント予約した画像は以下の方法でプリントできます。

DPOF対応のプリントショップでプリントする
予約されている内容にしたがってプリントできます。

DPOF対応のプリンタでプリントする
パソコンを使わずに、専用プリンタから直接プリントできます。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。
PCカードアダプタが必要な場合もあります。

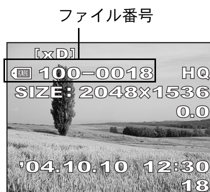
DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ

内蔵メモリの画像をプリントショップでプリントすることはできません。カードにコピーしてプリントショップへお持ちください。
☞「内蔵メモリの画像をカードにコピーする（バックアップ）」(P.86)

プリントショップなどのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。
ファイル番号は、画像を再生したときに、約3秒間表示されます。
（例） [FILE] 100-0018

フォルダの通し番号　画像の通し番号

ファイル番号





ヒント

撮影時の画質モードとプリントの関係

パソコンやプリンタの解像度には一般的に1インチあたりの点（ピクセル）の数が用いられ、dpi （dot per inch）と呼ばれています。同じ画像をプリントしても、プリント時のdpi の値を大きくすることでより鮮明に印刷することができますが、撮影された画像のピクセル数は変わらないため、実際に印刷されるサイズは小さくなります。その画像を拡大してプリントすることもできますが、画質は粗くなります。

プリントすることを前提として撮影するときや、大きいサイズでプリントしたいときは、撮影時の画質モードをできるだけ高いものに設定することをおすすめします。☞「画質モードを選択する（画質モード）」（P.63）



注意

- 他のDPOF機器で設定されたDPOF予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。
- 他の機器でDPOF予約されているファイルがある場合、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、以前に予約した内容は消去されます。
- DPOF予約できる枚数は1枚のカードにつき999コマまでです。
- カードに空き容量が少ないと予約できない場合があります。「カード残量がありません」と表示されます。
- プリンタまたはプリントショップにより、一部機能が制限されることがあります。
- プリント予約は、カードに予約を記録するときに時間がかかることがあります。

全コマ予約

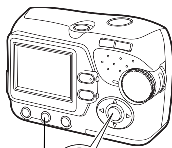
カードの中の全画像を1枚ずつプリント予約します。撮影日時のプリントを指定することができます。
プリント枚数の変更はできません。枚数を変更するときは全コマ予約後、1コマ予約で変更します。☞「1コマ予約」（P.94）

1 静止画を再生します。

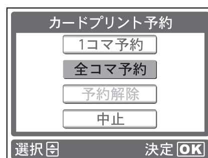
- 🎞のついた画像はプリントできません。

2 メニューから［プリント予約］を選択し、ⓞⓚを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.37）



3 △▽を押して、［全コマ予約］を選択し、ⓞⓚを押します。



カードプリント予約画面

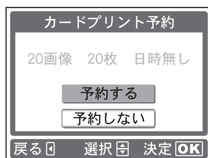
4 △▽を押して［無し］［日付］［時刻］から選択し、ⓞⓚを押します。

無し　画像のみプリントされます。
日付　すべての画像に撮影年月日が付加されてプリントされます。
時刻　すべての画像に撮影時刻が付加されてプリントされます。



5 △ ▽ を押して［予約する］を選択し、OK を押します。

- MENU を押すと、メニューが終了します。



1コマ予約

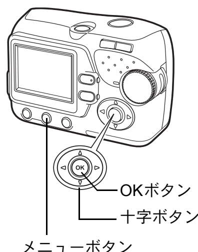
選択した画像のみをプリント予約します。また、すでに予約した枚数や日時のプリントなどの条件を変更します。プリントするコマを表示してプリント枚数を設定します。

1 静止画を再生します。

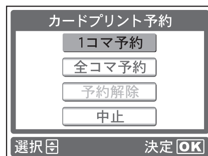
- 🎞のついた画像はプリントできません。

2 メニューから［プリント予約］を選択し、ⓞⓚ を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.37）



3 △ ▽ を押して、［1コマ予約］を選択し、ⓞⓚ を押します。



カードプリント予約画面

4 十字ボタンを押して、プリント予約したい画像とプリント枚数を設定します。



- ◁ ▷を押して画像を選択します。
  ◁ ：1コマ前の画像を表示します。
  ▷ ：次の画像を表示します。
- △ ▽ を押してプリント枚数を設定します。
  △ ：枚数が増えます。
  ▽ ：枚数が減ります。
- 予約を解除するときは枚数を0にします。
- 他の画像も設定するときは、手順4を繰り返します。

5 ㊋ を押します。

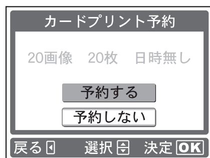
6 △ ▽ を押して［無し］［日付］［時刻］を選択し、㊋ を押します。

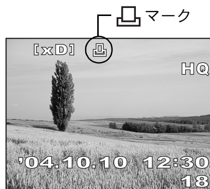


無し 画像のみプリントされます。
日付 プリント予約されたすべての画像に撮影年月日が付加されてプリントされます。
時刻 プリント予約されたすべての画像に撮影時刻が付加されてプリントされます。

7 △ ▽ を押して［予約する］を選択し、㊋ を押します。

- 表示されている画像に 凸 マークが表示されます。
- ⊜ を押すと、メニューが終了します。





6 プリント予約（DPOF）

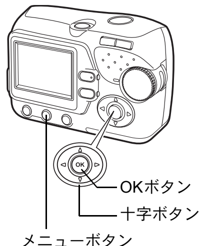
プリント予約の解除

カード内の画像のプリント予約をすべて解除します。
不要なコマの予約だけを解除したいときは、1コマ予約で設定できます。

1 静止画を再生します。

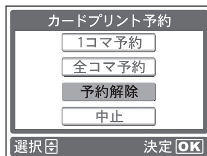
2 メニューから［プリント予約］を選択し、Ⓞ を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.37）



3 △ ▽ を押して［予約解除］を選択し、Ⓞ を押します。

- カード内の予約がすべて解除されます。
- ⊜ を押すと、メニューが終了します。



ヒント

不要なコマの予約のみを解除したい

→ 1コマ予約と同じ操作で設定します。「1コマ予約」（P.94）の手順4で不要なコマを選択し、プリント枚数を0にします。

△ ▽ を押して、0に設定します。



ダイレクトプリントについて

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数の設定は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラの液晶モニタを見ながら操作します。また、プリント予約の設定内容を使って、プリントすることもできます。☞「プリント予約とは」（P.90）
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

PictBridgeとは…異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

標準設定とは…PictBridge対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面（P.100～105）で［凸 標準設定］を選択すると、この設定にしたがってプリントされます。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにおたずねください。



ヒント

- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

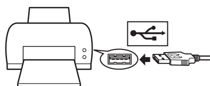

注意

- 電源には別売のACアダプタのご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は、充分に充電された電池をお使いください。プリンタと通信中にカメラが動作を停止すると、プリンタが誤動作したり、画像データを壊すことがあります。
- ムービー画像はプリントできません。
- USBケーブルを取り付けているときは、カメラはスリープモード（待機状態）になりません。

カメラをプリンタに接続する

付属のUSBケーブルで、カメラをPictBridge対応プリンタに接続します。

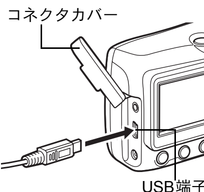
1 プリンタの電源を入れて、プリンタのUSBポートに、カメラに付属の専用USBケーブルのプリンタ接続側のプラグを差し込みます。



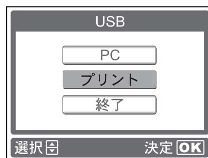
- プリンタの電源の入れ方およびUSB端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

2 専用USBケーブルをカメラのUSB端子に差し込みます。

- 自動的にカメラの電源が入ります。
- カメラの液晶モニタが点灯し、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されます。



3 △ ▽ を押して［プリント］を選択し、Ⓞ を押します。



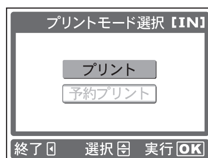
- 接続中は、カメラ本体の緑ランプが点灯します。
- 「しばらくお待ちください」と表示されたあとカメラとプリンタが接続され、カメラの液晶モニタにプリントモード選択画面が表示されます。プリントの設定はカメラの液晶モニタを見ながら操作します。☞「プリントする」(P.99) に進みます。


注意

- 手順3で［PC］を選択するとカメラはプリントモード選択画面へ進みません。USBケーブルを抜いて、手順1からやりなおしてください。

プリントする

カメラが正しくPictBridge対応プリンタに接続されると、カメラの液晶モニタにプリントモード選択画面が表示されます。この画面でプリントモードを選択して、プリントします。選択できるプリントモードは、以下のとおりです。



プリントモード選択画面

プリント 選択した画像をプリントします。
☞「プリントモード」(P.101)

予約プリント プリント予約の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約(P.90)された画像が無いときは、選択できません。
☞「予約プリントモード」(P.105)

プリントモードや各設定の内容について

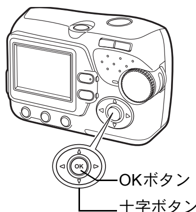
使用できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

簡単なプリント方法

一番簡単なプリント方法を使って、1枚プリントしてみましょう。選択した画像が1枚プリントされます。日付やファイル名はプリントされません。

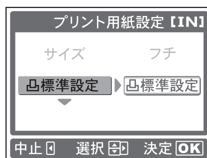
1 プリントモード選択画面で、△▽を押して［プリント］を選択し、ⓞⓚを押します。

- プリント用紙設定画面が表示されます。



2 △▽を押して用紙サイズを選択し、▷を押します。

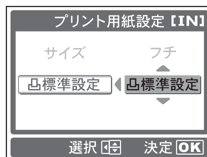
- プリント用紙設定画面が表示されないときは、用紙サイズとフチの設定は標準設定になります。→手順4へ進みます。



プリント用紙設定画面

3 △▽を押してフチの有無を選択し、ⓞⓚを押します。

有り（ ）用紙の周辺に余白を付けてプリントします。
無し（ ）用紙いっぱいにプリントします。



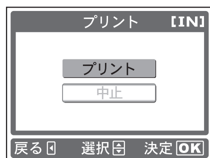
4 ◁▷を押してプリントする画像を選択し、ⓞⓚを押します。

- プリント画面が表示されます。



5 △ ▽ を押して［プリント］を選択し、⊛ を押します。

- プリントが開始されます。
- ［中止］を選択して ⊛ を押すとプリントモード選択画面に戻ります。

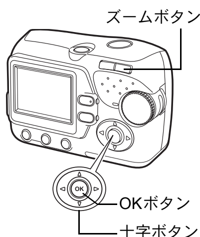


プリント画面

プリントモード

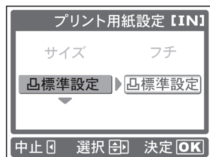
1 プリントモード選択画面で、△ ▽ を押して［プリント］を選択し、⊛ を押します。

- プリント用紙設定画面が表示されます。



2 △ ▽ を押して用紙サイズを選択し、▷ を押します。

- プリント用紙設定画面が表示されないときは、サイズとフチの設定は標準設定になります。→手順4へ進みます。

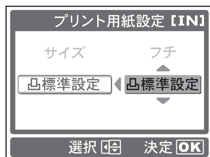


プリント用紙設定画面

3 △▽を押してフチの有無を選択し、㊋を押します。

有り（▢）用紙の周辺に余白を付けてプリントします。

無し（□）用紙いっぱいにプリントします。



4 ◁▷を押してプリントする画像を選択します。

• ズームボタンの W 側を押すと、インデックス表示されます。インデックスから画像を選択することもできます。



5 予約方法を選択します。

1枚予約　選択している画像を標準設定で予約します。プリント枚数は1枚です。

詳細予約　選択している画像のプリント枚数を設定してプリント予約します。日付やファイル名の付加などの設定もできます。

●1枚予約する

△を押します。

• 凸が表示されている画像のときに△を押すと、予約が解除されます。

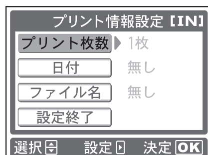
予約マークが表示されます。



●詳細予約する

① ▽ **を押します。**
- プリント情報設定画面が表示されます。

② △ ▽ **を押して設定したい項目を選択し、**(OK) **を押します。**
- △ ▽ を押して設定を変更し、(OK) を押します。



プリント枚数	プリント枚数を設定します。枚数は 10 枚まで設定できます。
日付（◷）	［有り］を選択すると、画像に日付が付加されてプリントされます。
ファイル名（FILE）	［有り］を選択すると、画像にファイル名が付加されてプリントされます。

③ **詳細予約の設定が終了したら、**△ ▽ **を押して［設定終了］を選択し、**(OK) **を押します。**
- 手順4の画面に戻ります。

- 複数の画像をまとめてプリントするときは、手順4と手順5の「1枚予約」と「詳細予約」を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。



6 (OK) **を押します。**
- プリント画面が表示されます。

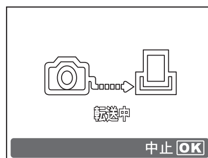
7
ダイレクトプリント（PictBridge）

7 △ ▽ を押して［プリント］を選択し、㊍ を押します。

- プリントが開始されます。
- ［中止］を選択して ㊍ を押すとプリントモード選択画面に戻ります。



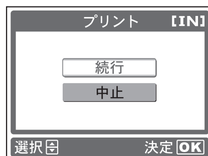
- プリントが終了すると、プリントモード選択画面に戻ります。
☞「ダイレクトプリントを終了する」（P.107）



データ転送中の画面

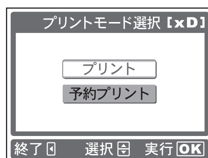
●プリントを途中で中止するには

プリンタへデータを転送中に ㊍ を押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。プリントを中止するには、△ ▽ を押して［中止］を選択し、㊍ を押します。

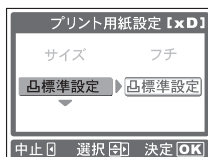


予約プリントモード

1 プリントモード選択画面で、△ ▽ を押して［予約プリント］を選択し、Ⓞ を押します。
- プリント用紙設定画面が表示されます。

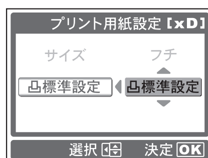


2 △ ▽ を押して用紙サイズを選択し、▷ を押します。
- プリント用紙設定画面が表示されないときは、サイズとフチの設定は標準設定になります。→手順4に進みます。



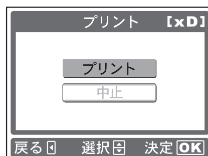
3 △ ▽ を押してフチの有無を選択し、Ⓞ を押します。

有り（▢）　用紙の周辺に余白を付けてプリントします。
無し（□）　用紙いっぱいにプリントします。
- プリント画面が表示されます。

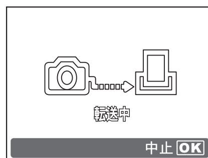


4 △ ▽ を押して［プリント］を選択し、㊙ を押します。

- プリントが開始されます。
- ［中止］を選択して ㊙ を押すとプリントモード選択画面に戻ります。



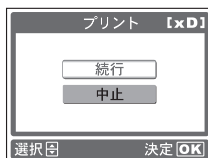
- プリントが終了すると、プリントモード選択画面に戻ります。
☞「ダイレクトプリントを終了する」（P.107）



データ転送中の画面

●プリントを途中で中止するには

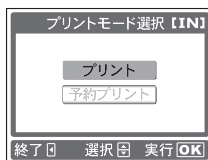
プリンタへデータの転送中に ㊙ を押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。プリントを中止するには、△ ▽ を押して［中止］を選択し、㊙ を押します。



ダイレクトプリントを終了する

プリントが終了したら、カメラをプリンタから取り外します。

1 プリントモード選択画面で、◁を押します。

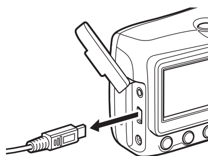


- メッセージが表示されます。

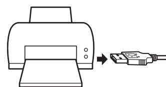
USBケーブルを抜いてください

2 カメラからUSBケーブルを抜きます。

- カメラの電源が切れます。



3 プリンタからUSBケーブルを抜きます。



エラーコードが表示されたときは

ダイレクトプリント設定中およびプリント中にカメラの液晶モニタにエラーコードが表示されたときは、以下のように対応してください。
対処方法については、お使いのプリンタの取扱説明書もご覧ください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
接続されていません	カメラがプリンタに正しく接続されていません。	カメラとプリンタを正しく接続しなおしてください。
用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が変更されました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした。	プリントの設定中にはプリンタの操作はしないでください。
プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れなおしてください。



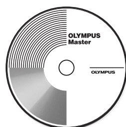
ヒント

- その他のエラーコードが表示されたときは、「こんな表示がでたら」（P.130）をご確認ください。

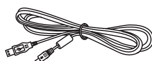
操作の流れ

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、カメラの内蔵メモリまたはカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。

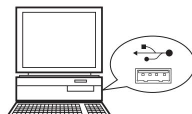
以下のものを準備してから、操作をはじめてください。



OLYMPUS Master CD-ROM



USB ケーブル



USBポートを装備したパソコン

OLYMPUS Masterをインストールする ☞ P.112

↓

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する ☞ P.118

↓

OLYMPUS Masterを起動する ☞ P.120

↓

画像をパソコンに保存する ☞ P.122

↓

カメラをパソコンから取り外す ☞ P.123



ヒント

パソコンに取り込んだ画像を活用するには

→ グラフィックソフトを使っての画像処理は、必ずパソコンに取り込んでから行ってください。ソフトウェアによってはファイル（画像）が内蔵メモリまたはカードの中にある状態で、画像処理（画像の回転など）を行うと、ファイルが壊れる可能性があります。

USB接続でカメラのデータを取り込めないとき

→ xD ピクチャーカードは別売の PC カードアダプタをお使いいただくと、パソコンへの画像の取り込みが可能なOSもあります。詳しくは裏表紙に記載の「ホームページによる情報提供について」をご参照ください。



注意

- カメラをパソコンに接続して使用するときは、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。電池をご使用のときは残量が十分にあることをご確認ください。パソコンとの接続中（通信中）は、自動的に電源が切れません。電池の残量がなくなると、カメラは途中で動作を停止します。カメラが動作を停止すると、パソコンが誤動作したり、パソコンとカメラの通信中の場合は、画像データ（ファイル）を壊すことがあります。
- 誤動作の原因になりますので、パソコンとの接続中はカメラの電源を切らないでください。
- USB ハブを経由してカメラを接続すると、ハブとパソコン間の相性によって動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでパソコンとカメラを直接接続してください。

付属のOLYMPUS Masterを使う

画像の編集・管理を行うために、付属のCD-ROMから、OLYMPUS Masterをインストールしましょう。

OLYMPUS Masterとは

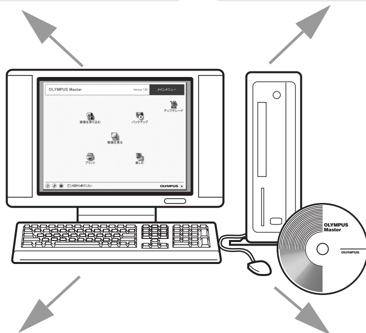
OLYMPUS Masterはデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。

カメラやメディアから画像を取り込む

画像を整理・管理する
カレンダー形式で表示して画像を管理します。撮影日時やキーワードで、目的の画像をすばやくみつけることができます。

画像を見る・ムービーを見る
スライドショーを楽しんだり、ムービーを再生することもできます。

画像を編集する
画像の回転や反転、トリミング、サイズ変更などの編集ができます。



フィルタ機能、補正機能で画像を補正する

プリンタを使ってプリントする
インデックスプリントやカレンダー、ポストカードなど多彩なプリントが楽しめます。

上記以外の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。

OLYMPUS Masterをインストールする

お使いのパソコンのOSをご確認の上、インストールしてください。
新しいOSへの対応についてはオリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp)でご確認ください。

●動作環境について

Windows

OS	Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP
CPU	Pentium III 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ピクセル以上、65,536色以上

- OSがプレインストールされているパソコンのみ、動作対象となります。
- Windows XPはWindows XP Professional/Home Editionに対応しています。
- Windows 2000は、Windows 2000 Professionalにのみ対応しています。
- Windows 98SEをお使いの場合、USBドライバが自動的にインストールされます。
- Windows 2000 Professional/XPでインストールする場合は、管理者権限を所有するユーザでログインしてください。
- パソコンにQuickTime 6以上、Internet Explorerがインストールされている必要があります。

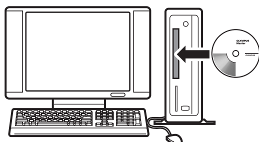
Macintosh

OS	Mac OS X（10.2以降）
CPU	Power PC G3 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ピクセル以上、32,000色以上

- USBポートが標準装備されていないMacintoshでは、パソコンとカメラをUSB接続した場合の動作を保証いたしません。
- MacintoshにQuickTime 6以上、Safari 1.0以上がインストールされている必要があります。
- 次の操作を行うときは、必ずメディアを取り出す手順（ゴミ箱にドラッグ＆ドロップ）を先に行ってください。この手順を行わずに操作すると、パソコン動作が不安定になり、再起動が必要となる場合があります。
  - カメラとパソコンの接続ケーブルを抜く
  - カメラの電源を切る
  - カメラの電池／カードカバーを開ける

Windowsの場合

1 CD-ROM ドライブに CD-ROM を入れます。



- OLYMPUS Masterインストール画面が表示されます。
- 表示されない場合は、[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、CD-ROM アイコンをクリックしてください。

2 [OLYMPUS Master] ボタンをクリックします。



- QuickTime インストール用の画面が表示されます。
- QuickTimeはOLYMPUS Masterを動作させる上で必要です。すでにQuickTime 6以上がインストールされている場合は表示されません。→手順4に進んでください。

3 [次へ] ボタンをクリックし、画面のメッセージにしたがって操作を行います。



- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで [同意します] をクリックします。
- OLYMPUS Masterインストールの画面が表示されます。

4 画面のメッセージにしたがって操作を行います。



- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで［はい］ボタンをクリックします。
- 途中、ユーザ情報の画面が表示されたら、［名前］［OLYMPUS Masterシリアル番号］を入力し、お住まいの国を選択して［次へ］ボタンをクリックします。シリアル番号は、CD-ROMのパッケージに貼ってあるシールをご覧ください。
- 途中、DirectXインストールの使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで［はい］ボタンをクリックします。
- Adobe Readerをインストールするかどうか確認する画面が表示されます。Adobe ReaderはOLYMPUS Masterの取扱説明書を見るために必要です。すでにAdobe Readerがインストールされている場合は表示されません。

5 Adobe Readerをインストールする場合は［OK］をクリックします。



- インストールしない場合は［キャンセル］をクリックします。
- Adobe Readerインストール用の画面が表示されます。
- 続いて蔵衛門体験版のインストール画面が表示されます。インストールする場合は［はい］をクリックします。

6 画面のメッセージにしたがって操作を行います。

• インストール完了画面が表示されます。



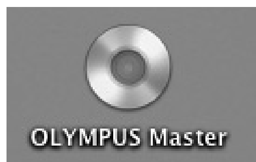
7 ［完了］ボタンをクリックします。

• 最初の画面に戻ります。

8 再起動を求める画面が表示されたら、CD-ROMを取り出し、［今すぐコンピュータを再起動する］を選択します。

Macintoshの場合

1 CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。



- CD-ROMのウィンドウが表示されます。
- 表示されない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

2 ［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。



- 画面のメッセージにしたがって操作を行ってください。
- OLYMPUS Masterのインストーラが起動します。
- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで［続ける］ボタン、［同意します］ボタンをクリックします。
- インストール完了画面が表示されます。

3 ［終了］ボタンをクリックします。

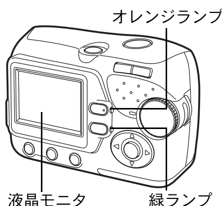
4 CD-ROMを取り出して、［再起動］をクリックします。

カメラをパソコンに接続する

付属のUSBケーブルで、カメラをパソコンに接続します。

1 カメラの電源が入っていないことを確認します。

- 液晶モニタが消灯している。
- カメラ本体の緑ランプとオレンジランプが消灯している。
- レンズが出ていない。

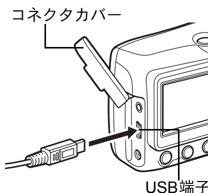


2 パソコンのUSBポートに、カメラに付属のUSBケーブルを差し込みます。

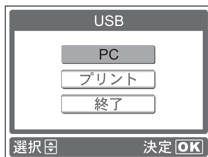
- USBポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。

3 専用USBケーブルをカメラのUSB端子に差し込みます。

- 自動的にカメラの電源が入り、緑ランプが点灯します。
- カメラの液晶モニタが点灯し、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されます。



4 △ ▽ を押して［PC］を選択し、Ⓞ を押します。



5 パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

- Windows 98SE/ Me/ 2000の場合
  はじめてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを自動的に認識する動作を行い、終了のメッセージが表示されます。
  ［OK］をクリックしてメッセージを終了してください。カメラは［リムーバブルディスク］として認識されます。



リムーバブル ディスク(E:)

- Windows XPの場合
  パソコンに接続すると、画像ファイルの操作を選択する画面が表示されます。OLYMPUS Masterで画像を取り込みますので、［キャンセル］をクリックします。

- Mac OS Xの場合
  画像ファイルは通常iPhotoというアプリケーションで管理されます。はじめてカメラとパソコンを接続すると、iPhoto が起動します。OLYMPUS Masterで画像を取り込みますのでiPhotoを終了させてください。


注意

- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。

OLYMPUS Masterを起動する

Windowsの場合

1 デスクトップの[OLYMPUS Master]アイコンをダブルクリックします。

- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザ登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

Macintoshの場合

1 [OLYMPUS Master]フォルダ内の[OLYMPUS Master]アイコンをダブルクリックします。

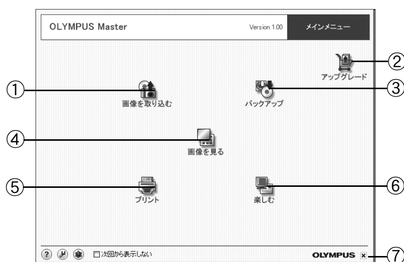
- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時にユーザ情報の画面が表示されますので、[名前][OLYMPUS Masterシリアル番号]を入力し、お住まいの国を選択してください。シリアル番号は、CD-ROMのパッケージに貼ってあるシールをご覧ください。



- ユーザ情報入力画面に続いて、メインメニューの前にユーザ登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

8
パソコンとの接続

●OLYMPUS Masterのメインメニュー



①	［画像を取り込む］ボタン	画像をカメラまたはメディアから取り込みます。
②	［アップグレード］ボタン	OLYMPUS Master Plusへのアップグレードできるダイアログボックスが表示されます。
③	［バックアップ］ボタン	画像をバックアップします。
④	［画像を見る］ボタン	ブラウズウィンドウが表示されます。
⑤	［プリント］ボタン	プリントメニューが表示されます。
⑥	［楽しむ］ボタン	楽しむメニューが表示されます。
⑦	閉じるボタン	OLYMPUS Masterを終了します。

●OLYMPUS Masterを終了するには

1 メインメニューで ☒（閉じるボタン）をクリックします。
- OLYMPUS Masterが終了します。

カメラの画像をパソコンで表示する

取り込んで保存する

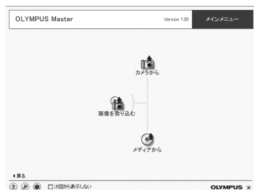
カメラの画像をパソコンに保存します。

1 OLYMPUS Masterメインメニューで[画像を取り込む]ボタンをクリックします。

- 取り込み元選択メニューが表示されます。

2 [カメラから] ボタンをクリックします。

- 取り込み元ウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。



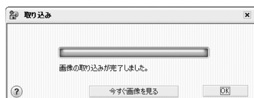
3 画像ファイルを選択し、[取り込み] ボタンをクリックします。

- 確認のメッセージが表示されます。



4 [今すぐ画像を見る] ボタンをクリックします。

- ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。
- ブラウズウィンドウの［メニュー］をクリックすると、メインメニューに戻ります。




注意

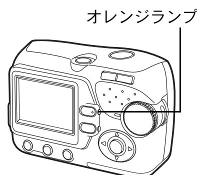
- 画像を取り込んでいる間はカメラのオレンジランプが点滅します。オレンジランプが点滅しているときは、絶対に電池やACアダプタを抜かないでください。また、電池／カードカバーを開けないでください。ファイルが壊れる可能性があります。

8 パソコンとの接続

●カメラを取り外すには

カメラの画像をパソコンに取り込んだら、カメラを取り外すことができます。

1 カメラのオレンジランプが消えていることを確認します。



2 USBケーブルを抜く準備をします。

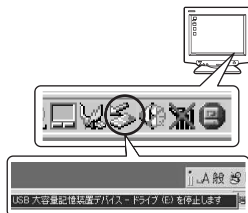
Windows 98SEの場合

① ［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックして、［リムーバブルディスク］を右クリックし、メニューを表示させます。
② メニューの［取り出し］をクリックします。



Windows Me/2000/XPの場合：

① システムトレイに表示されている［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックします。
② 表示されるメッセージをクリックします。
③ ［デバイスは安全に取り外すことができます］が表示されたら、［OK］をクリックします。

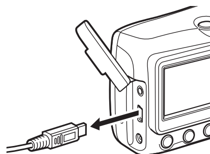


Macintoshの場合：

① デスクトップの［名称未設定］（または［NO_NAME］）アイコンを［ごみ箱］にドラッグ＆ドロップします。



3 カメラからUSBケーブルを抜きます。




注意

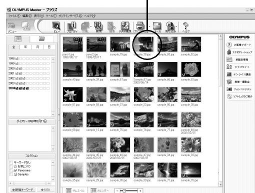
- Windows Me/ 2000/ XPの場合：
  ［ハードウェアの取り外し］をクリックした際、［カメラを停止できません］という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、［ハードウェアの取り外し］の操作を再度行い、その後ケーブルを外してください。

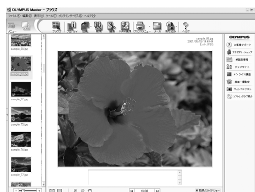
静止画／ムービーを見る

1 OLYMPUS Masterメインメニューで [画像を見る］ボタンをクリックします。

- ブラウズウィンドウが表示されます。

2 見たい静止画のサムネイルをダブルクリックします。





- ビューモードに切り換わり、画像が拡大して表示されます。
- ブラウズウィンドウの［メニュー］をクリックすると、メインメニューに戻ります。

8

パソコンとの接続

●ムービーを見るには

1 ブラウズウィンドウで見たいムービーのサムネイルをダブルクリックします。

• ビューモードに切り替わり、ムービーの1コマ目が表示されます。

2 ムービー表示部下側の再生ボタン（▶）をクリックするとムービーが再生されます。

コントローラ各部の名称とはたらきは以下のとおりです。



	項目	詳細
①	再生スライダー	スライダーを移動して、任意のフレームを指定できます。
②	時間表示	再生中の経過時間が表示されます。
③	再生 (一時停止) ボタン	ムービーを再生します。再生中は一時停止ボタンになります。
④	1フレーム戻るボタン	1つ前のフレームを表示します。
⑤	1フレーム進むボタン	次のフレームを表示します。
⑥	停止ボタン	再生を停止し、先頭のフレームに戻ります。
⑦	繰り返しボタン	ムービーが繰り返し再生されます。
⑧	ボリュームボタン	ボリューム調整スライダーが表示されます。

プリントする

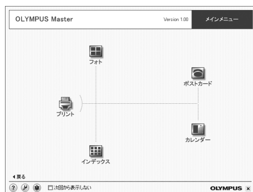
フォト、インデックス、ポストカード、カレンダーなどのプリントメニューがあります。ここではフォトプリントを例に説明します。

1 OLYMPUS Masterメインメニューで [プリント] ボタンをクリックします。

- プリントメニューが表示されます。

2 [フォト] ボタンをクリックします。

- フォトプリントウィンドウが表示されます。



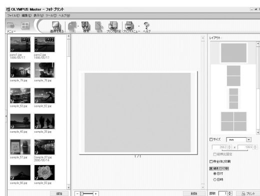
3 フォトプリントウィンドウの[プリンタ設定] をクリックします。

- プリンタの設定ダイアログが表示されますので、必要に応じてプリンタの設定をします。



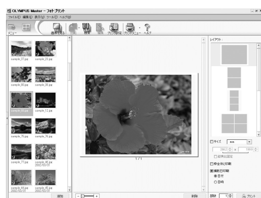
4 プリントするレイアウトやサイズなどを選択します。

- 日付または日時を入れてプリントするときは、[撮影日印刷] にチェックをつけて、[日付] または [日時] を選択します。

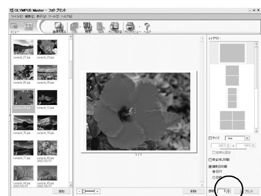


5 プリントしたい画像のサムネイルを選択し、［追加］ボタンをクリックします。

• 選択した画像がレイアウト上にプレビュー表示されます。



6 プリントする部数を設定します。



7 ［プリント］ボタンをクリックします。

• フォトプリントウィンドウの［メニュー］をクリックすると、メインメニューに戻ります。

OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに、付属の専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続して、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

Windows: Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XP

Macintosh: Mac OS 9.0-9.2/X


注意

- Windows 98/98SEをお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する前に、付属のOLYMPUS Master CD-ROMの以下のフォルダにあるファイルをダブルクリックしてください。
  （お使いのパソコンのドライブ名）：¥USB¥INSTALL.exe
- USB 端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
  - Windows 95/NT 4.0
  - Windows 95からアップグレードしたWindows 98/98SE
  - Mac OS 8.6以前（ただし、工場出荷時にUSB端子、USB MASS Storage Support 1.3.5を装備したMac OS 8.6は動作確認がされています。）
  - 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
  - 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン

こんな表示がでたら

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
カードを認識できません	カードが入っていません。または認識できません。	カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。 それでもこの表示が消えないときはカードをフォーマットしてください。 フォーマットできない場合、このカードはご使用になれません。 カードを入れなくても、内蔵メモリがご使用になれます。
このカードは使用できません	カードに問題があります。	このカードは使用できません。 新しいカードを入れてください。
書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。 再度パソコンを使って設定を解除してください。
内蔵メモリの撮影可能枚数が0です	内蔵メモリの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを使用してバックアップするか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
カードの撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
メモリ残量がありません	内蔵メモリに空き容量がなく、新たな記録をすることができません。	カードを入れるか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
カード残量がありません	カードに空き容量がなく、プリント予約や内蔵メモリのバックアップはできません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
内蔵メモリに画像が記録されていません	内蔵メモリに記録画像がないため画像が再生できません。	内蔵メモリに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。
カードに画像が記録されていません	カードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
! この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
カードカバーが開いています	電池／カードカバーが開いています。	電池／カードカバーを閉めてください。
カードセットアップ【xD】 電源オフ カードフォーマット 選択 実行OK	カードがフォーマットされていません。	カードをフォーマットしてください。フォーマットをすると、カード内のデータはすべて消去されます。

故障かな？と思ったら

●準備操作

原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない、またはボタンを押しても動かない		
電源が切れている	パワースイッチを押して、電源を入れてください。	P.30
電池の向きが正しくない	電池を正しく入れなおしてください。	P.21
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。または新しい電池を入れてください。	P.21
寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットに入れるなどして温めてからご使用ください。	—
カメラがスリープモード（待機状態）になっている	シャッターボタン、(カメラ)、または(再生)を押してください。	P.30
カメラ内が結露*した	電源を入れないでしばらくおき、カメラを乾燥させてから、電源を入れてください。	—
パソコンに接続している	カメラとパソコンの接続を取り外してください。パソコンと接続中、カメラは動作しません。	—

* 結露：外気が寒いときに空気中にある水蒸気が急速に冷やされて水滴になること。カメラが冷えた状態で急に暖かい部屋などに入れた場合に発生します。

●撮影

原因	こうしましょう	参照ページ
シャッターボタンを押しても撮影ができない		
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。または新しい電池を入れてください。	P.21
再生モードになっている	(撮影ボタン)またはシャッターボタンを押して撮影モードに切り換えてください。	P.31
電源が入っていない	パワースイッチを押して、電源を入れてください。	P.30
フラッシュの充電が完了していない	一度シャッターボタンから指を離し、(フラッシュ)マークの点滅が終わってから撮影してください。	P.56
内蔵メモリまたはカードの容量がいっぱいになった	不要な画像を消すか、新しいカードを入れてください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。	P.80、81、84
撮影中や内蔵メモリまたはカードの書き込み中に電池がなくなった（液晶モニタが消灯した）	電池を充電してください。または新しい電池を入れてください。（オレンジランプが点滅中は、消灯するまでお待ちください。）	P.21
カードに問題がある	「こんな表示がでたら」でご確認ください。	P.130
ピントが合わない		
被写体との距離が近すぎる	被写体との距離をはなして撮影してください。ズームがもっとも広角のときに20cmよりも近づいて撮影するときは、スーパーマクロモードに設定してください。	P.59
AFが苦手な被写体である	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.48
カメラ内が結露*した	電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。	ー
フラッシュが発光しない		
フラッシュが発光禁止に設定されている	フラッシュの設定を［発光禁止］以外に設定してください。	P.55
明るい被写体である	フラッシュを強制的に発光させたい場合は、フラッシュを［強制発光］に設定してください。	P.55
ムービー撮影・スーパーマクロが設定されている	ムービー・スーパーマクロ撮影ではフラッシュはご使用になれません。	P.51、59

* 結露：外気が寒いときに空気中にある水蒸気が急速に冷やされて水滴になること。カメラが冷えた状態で急に暖かい部屋などに入れた場合に発生します。

原因	こうしましょう	参照ページ
液晶モニタが消灯した		
カメラがスリープモード（待機状態）になっている	シャッターボタンまたは（カメラボタン）を押してください。	P.30
液晶モニタが見にくい		
太陽光の下である	太陽の光を手などでさえぎってください。	—
液晶モニタの画面に縦スジが入る	晴天下のような明るい被写体に向けると起こることがあります。故障ではありません。	—
画像に記録される日付が正しくない		
日時が設定されていない	日時を設定してください。お買い上げ時には日時の設定はされていません。	P.34
電池を抜いて放置していた	電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時設定が初期状態に戻ります。もう一度、日時を設定してください。	P.34
電池の消耗が早い		
寒い中で使用している	低温下では電池の性能が低下します。カメラを防寒具や衣類の内側に入れるなどして、保温しながら使用してください。	—
電池残量が正しく表示されない	カメラの消費電力が大きく変化する際、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。電池を充電してください。または新しい電池と交換してください。	P.18、21

●画像の再生

原因	こうしましょう	参照ページ
液晶モニタで再生できない		
電源が入っていない	パワースイッチを押して電源を入れ、(▶)を押して再生モードに切り換えてください。	P.30、68
撮影モードになっている	(▶)を押して、再生モードに切り換えてください。	P.31、68
内蔵メモリまたはカードに画像が記録されていない	液晶モニタに「画像が記録されていません」と表示されます。撮影してから再生してください。	—
カードに問題がある	「こんな表示がでたら」でご確認ください。	P.130
テレビに接続している	ビデオケーブルを接続しているときは液晶モニタは点灯しません。	P.75
1コマ消去・全コマ消去ができない		
画像がプロテクトされている	О┳マークの付いた画像を表示して、メニューの［プロテクト］から［オフ］を選択し、プロテクトを解除してください。	P.79
カメラとテレビを接続してもテレビに映像がでない		
カメラの映像出力信号が間違っている	使用する地域の映像信号にビデオ出力の設定を合わせてください。	P.89
テレビの映像信号の設定が間違っている	テレビをビデオ（映像）入力モードにしてください。	P.75
ピントが合っていない		
シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった（手ぶれ）	カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。 また、シャッター速度が遅くなると手ぶれが起きやすくなります。夜景撮影や暗い状況でフラッシュを［発光禁止］にして撮影するときは三脚をご使用になるか、カメラをしっかり構えて撮影してください。	P.45 P.55
レンズが汚れていた	レンズの汚れを拭きとってください。レンズブロワー（市販）でレンズのほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパー（市販）でやさしく拭いてください。レンズを汚れたままにしておくとかびが生えることがあります。	—
緑ランプが点灯しても正しくピントが合っていないことがあります	被写体と同じ距離のものでフォーカスロックしたあと、構図を決めてください。	P.48

原因	こうしましょう	参照ページ
撮影した画像が明るすぎる		
フラッシュの設定が［強制発光］になっていた	［強制発光］以外のフラッシュモードに設定してください。	P.55
被写体が明るすぎた	露出補正をマイナス（−）側に設定するか、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。	P.66
撮影した画像が暗い		
フラッシュを指で覆ってしまった	カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気をつけてください。	P.45
撮りたいものがフラッシュ撮影範囲内より遠かった	フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。	P.56
フラッシュが［発光禁止］になっていた	フラッシュを［発光禁止］以外に設定してください。	P.55
逆光状態で小さい被写体を撮影した	フラッシュを［強制発光］に設定して撮影してください。	P.55
雪景色などの明るい被写体を撮ると実際より暗く見える画像が撮れます	露出補正をプラス（＋）側に補正します。	P.66
室内で撮影した画像の色がおかしい		
撮るものに白い部分がなかった	白いものを入れて撮影するか、フラッシュを［強制発光］に設定して撮影してください。	P.55
画像の一部が欠けてしまった		
レンズに指やストラップがかかってしまった	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップがかからないように気をつけてください。	P.45

●パソコンやプリンタとの接続

原因	こうしましょう	参照ページ
プリンタと接続できない		
USBケーブルでプリンタと接続したあと液晶モニタで[PC]を選択した	USBケーブルを抜いて最初の手順からやり直してください。	P.98
プリンタがPictBridgeに対応していない	ご使用のプリンタの取扱説明書をご確認ください。またはプリンタメーカーにおたずねください。	—
パソコンでカメラが認識されない		
パソコンがカメラの認識に失敗した	カメラからUSBケーブルを抜いて、もう一度接続し直してください。	P.118
USBドライバがインストールできていない	OLYMPUS Masterを一度アンインストールして、もう一度インストールし直してください。	P.112

メニュー一覧

●撮影メニュー（P-AUTO／[icon]／[icon]／[icon]／[icon]／[icon]）

項目	選択肢	参照頁
画質モード※1	SHQ／HQ／SQ1／SQ2	P.63
バックアップ※2	バックアップ／中止	P.86
日時設定		P.34
[icon]	日本語／ENGLISH／FRANCAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL／ITALIANO／РУССКИЙ	P.32
スリープ時間	30秒／1分／3分／10分	P.87
ビデオ出力	NTSC／PAL	P.89
メモリフォーマット（カードフォーマット）	フォーマット／中止	P.84
ピクセルマッピング	スタート／中止	P.88

※1　ムービー撮影（[icon]）では選択肢がHQ／SQになります。

※2　カードがカメラに入っていないときは選択できません。

●再生メニュー

項目	選択肢	参照頁
自動再生※1	→／（繰り返し）／中止	P.74
バックアップ※2	バックアップ／中止	P.86
プリント予約※1 ※2	1コマ予約／全コマ予約／予約解除／中止	P.92, 94, 96
プロテクト	オン／オフ／終了	P.79
回転表示※1	（左回転）／（回転なし）／（右回転）／終了	P.71
メモリセットアップ（カードセットアップ）	全コマ消去／メモリフォーマット（カードフォーマット）／中止	P.81, 84
日時設定		P.34
（言語）	日本語／ENGLISH／FRANCAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL／ITALIANO／PYCCKИЙ	P.32
スリープ時間	30秒／1分／3分／10分	P.87
ビデオ出力	NTSC／PAL	P.89
インデックス表示	4／9	P.73

※1　ムービー画像を表示しているときは選択できません。
※2　カードがカメラに入っていないときは選択できません。

9
その他

初期設定一覧

●撮影モード

フラッシュ	オート
マクロ	オフ
セルフタイマー	オフ
露出補正	0.0
ズーム	ワイド
画質モード	HQ

●再生モード

インデックス表示	9

●その他

日時設定	2004.01.01
	日本語
スリープ時間	30秒
ビデオ出力	NTSC

撮影モード別の設定可能な機能

撮影モード／機能	P-AUTO					
マクロ・スーパーマクロ	○	○	○	○	×	○
フラッシュ	○	○	○	○	○	×
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○
ズーム	○	○	○	○	W(広角)固定	○
画質モード	○	○	○	○	○	○※
露出補正	○	○	○	○	○	○
メモリフォーマット（カードフォーマット）	○	○	○	○	○	○
RESET	○	○	○	○	○	○
バックアップ	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○
スリープ時間	○	○	○	○	○	○
ビデオ出力	○	○	○	○	○	○
日時設定	○	○	○	○	○	○

※　ムービー撮影では、HQ／SQの画質モードのみ設定できます。

カメラのお手入れと保管

●カメラのお手入れ

カメラの外側

→ 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

液晶モニタ

→ 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

→ レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパー（市販）でやさしく拭きます。


注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。

●カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池とカードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。


注意

- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

アフターサービス

● 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」などの記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

● 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社修理センター／サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

● 保証期間経過後の修理などについては原則として有料となります。

● 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、または当社修理センター／サービスステーションにお問い合わせください。

● 海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のⓌマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。

● 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失など）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

● 修理品をご送付の場合は、修理個所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

お問い合わせいただく前に（お願い）

● より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
● FAXまたは郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。
● 問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけくわしくお知らせください。

● **お名前（フリガナ）**

● **連絡先**：郵便番号
ご住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）
電話番号／FAX
E-mail

● **製品名（型番）**：

● **シリアル番号（製品底面に記載されています）**：

● **お買い上げ日**：

※ 以下は、カメラをパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。

● **ご使用のパソコンの種類**：
パソコンメーカー・型番など

● **メモリの容量　ハードディスクの空き容量**：

● **OS名とバージョン**：
（Mac OS）コントロールパネルや機能拡張の内容
（Windows）コントロールパネル－システム－デバイスマネージャーの内容

● **その他接続されている周辺機器名**：

● **問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン**：

● **問題のご使用弊社ソフト名とバージョン**：

仕様

形式	：デジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式	
静止画	：デジタル記録、JPEG（DCF準拠）
対応規格	：Exif2.2、DPOF、PRINT Image Matching Ⅱ、PictBridge
ムービー	：QuickTime Motion JPEGに準拠
記録媒体	：内蔵メモリ（12MB）、 xDピクチャーカード（16-512MB）
記録コマ数	
内蔵メモリ使用時	：5枚（SHQ：2048×1536） 14枚（HQ ：2048×1536） 18枚（SQ1：1600×1200） 68枚（SQ2：640×480）
カメラ部有効画素数	：320万画素
レンズ	：オリンパスレンズ5.8～17.4mm、F2.9～5.0 （35mmフィルム換算38～114mm相当）
測光方式	：中央重点測光
シャッター	：1～1/2000秒（夜景モード時：2秒まで）
撮影範囲	：0.5m～∞（W）、0.9m～∞（T）（通常） 0.2m～0.5m（W）、0.5m～0.9m（T）（マクロ撮影時）
液晶モニタ	：1.5型（インチ）TFTカラー液晶、13万画素
コネクタ	：DC入力端子、USB端子、ビデオ出力端子
自動カレンダー機能	：2004～2099年の範囲で自動修正
使用環境	
温度	：0～40℃（動作時）／－20～60℃（保存時）
湿度	：30～90％（動作時）／10～90％（保存時）
電源	：単3アルカリ電池／ニッケル水素電池を2本使用 または専用ACアダプタ 単3マンガン電池、リチウム電池パック（CR-V3）は使用できません。

大きさ	：幅87.5mm×高さ62.5mm×厚さ38.5mm（突起部を除く）
質量	：140g（電池／カード別）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

用語解説

画素数
画像を形成する最小単位の点の数。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

画像サイズ
画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640×480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640×480のときではモニタ全体に表示されますが、1024×768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

スリープモード（待機状態）
電池を節約するためのモード。電源を入れたままカメラを一定時間放置すると、電池を節約するためにカメラは動作を停止します。シャッターボタンや撮影ボタン（📷）、再生ボタン（▶）を押すと、すぐにカメラは動作します。

露出
画像が写るために得る光の量。シャッター速度で時間を、絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

●アルファベット順

CCD（charge coupled device）
レンズを通して入ってきた光を受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

DCF（design rule for camera file system）
電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF（digital print order format）
デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応の写真店やプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

JPEG（joint photographic experts group）
静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、JPEG形式で内蔵メモリまたはカードに記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見ることができます。

NTSC／PAL（National Television Systems Committee／Phase Alternating Line）

テレビの放送方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

PictBridge

異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

TFT（thin-film transistor）液晶

カラー液晶モニタの一種。

索引

み

む

め

も

や

よ

り

れ

ろ

メモ

メモ

メモ

メモ

OLYMPUS®

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿2の3の1　新宿モノリス

●ホームページによる情報提供について
製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報を当社のホームページでご提供しております。
オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」→「デジタルカメラ／プリンタ」へ進み、ご利用ください。

●電話等でのご相談窓口
カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル



0120-084215

携帯電話・PHS からは 0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間　平日　　9：30〜21：00
土･日･祝日　10：00〜18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

●修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先
TEL　0266-26-0330　　FAX　0266-26-2011

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター
営業時間9：00〜17：00（日曜、夏期･年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町 1-3-1	小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北 4 条東 1 の 2 の 3	札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央 1 の 13 の 4	泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦 2 の 19 の 25	日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場 2 の 12 の 26	オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀 16 の 11	日本生命広島第 2 ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 3 の 6 の 11	福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4466

※　土・日曜、祝日および年末年始、夏期休暇は原則として休業させていただきます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

VT904501